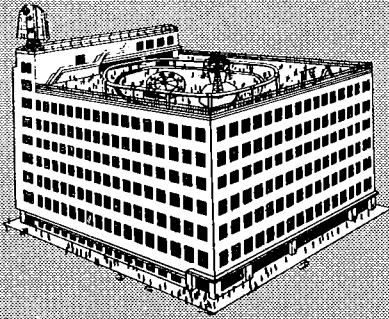
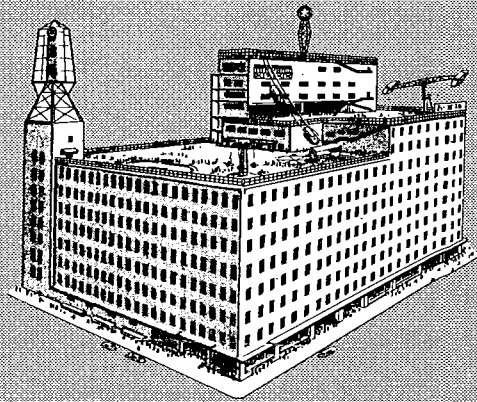


八代支店



ご家庭に
幸せをはこぶ
バラの包装紙

おくりものに
大洋の商品券
熊本八代両店共通



熊本本店



熊本市下通町1丁目3-10

大洋

TEL 〈大代表〉 2-1111

私のことば 「運営面の拡充に努力」多胡恒治... (1)

予算案・決算呈示さる..... (2)

西独チームの来日日程ほぼ決定..... (3)

新年度専門委員決る..... (4)

41年度優秀チームを発表..... (4)

女子実業団に新チーム..... (4)

7月末に「全日本」を発表..... (5)

インターハイ代表つきつき決定..... (5)

全日本総合選手権の推薦チーム決定... (5)

同志社大地方力を發揮..... (6)

西日本学生大会詳報..... (7)

目だったラフプレー..... (7)

中国・四国学連春季リーグ戦..... (7)

全日本学生選手権組み合せ・予想..... (8)

このようにして世界選手権を獲得した(10)

フランスの技術研究 (1)..... (12)

時評..... (15)

おもいつくまま..... (15)

写真「シュートモーションあれこれ」... (16)

ルーマニア選手「グルイア」..... (18)

球界パトロール

増加一途の大学同好
ハンドボールクラブ..... (20)

ひと足はやく日独対抗..... (20)

遠きよき思い出を求めて11人制
の試合举行..... (21)

顔ぶれは豪華版!!
異色チームは練馬区..... (21)

判定解釈の全国統一を切望..... (22)

日本ハンドボール界の課題...村田弘... (23)

学園だより..... (24)

ハンドボール球史 第33回 (27)

実連だより..... (29)

地方協会告知板..... (30)

各地の記録..... (31)

編集後記..... (32)

表紙写真 関東学生春季リーグ戦立大対
芝工大戦から

昭和13年うぶ声をあげた関東学生連盟が、今年30周年を迎えたのをはじめ、全日本学生関係でも学生王座が20回目、インター・カレッジが10回目を迎える。

先輩の話によれば、昭和13年関東学連が発足した時の加盟校は、わずか5校にすぎず、しかも、それ以外に全国で活動している大学ハンドボール部はなかったというのだから、現在、全国七つの地区でリーグ戦が開かれ、百校近い加盟校を持つまでになった学生界の発展はまことにめざましいといえる。

この間の先輩の努力が改めて、大きなものであったことを知らされこの球史をひきついで者としてわれわれもなおいっそう力をつくさなければならぬと思っている。

現在、学生界が当面している課題のうち特に大きな問題は、「加盟校の増加」と「財源の確保」であろう。

数字のうえでは、創立当初の20倍の加盟校を得たといっても、他競技に比べて、も

もちろん、日本ハンドボール界においても、その占める割合は低い。

特に、全国でも十校に満たぬ女子チームの増加は急務で、なんらかの具体策をたてなければならぬ時期に来ている。

財力が豊かであれば懸案である地方校から積極的な手を打つことができるであろうし、また国際試合の自主運営などトップ

レベルの充実にいくつかの理想を実現させることができるのだ。



私のことば

全日本学連 運営面の拡充に努力

関東学連委員長

多胡恒治

(日体大4年)

理想といえば、専用グラウンドをもたぬ悩

みも、各学連共通のものである。これからのスポーツはやはり一般の関心

財源問題については、一人学生界のみではなく、ハンドボール界全般の問題点ではあるが、特に、これから大きな理想をかか

ば、その抱負を坐折させるのは「財源」の

と支持を得なければ大きな伸びは期待できぬのではないか。

その意味で、専用グラウンドをもたず、点々と会場を変えたり、ウイークデーに日程を組まなければならぬのはマイナスイメージ。会場の固定化と確保を本部協会の首脳陣の力がたがたにぜひお願いしたいと思う。

幸にして、現在日本ハンドボール界のトップチームは学生界の代表によってその半数以上を占めている。

永年の努力と選手たちの情熱でこれからも学生界が日本ハンドボール界の技術的な面でのリーダーの位置を守りつづけることは疑いないことであり、来るべきミュンヘンオリンピックの代表選手の大半も学生界のトッププレイヤーによって占められることであろう。

そうした技術面の洋々たる前途におとらぬ運営面の拡充を企てるのが、今後の学連に課せられた最大のテーマだと思ふ。

昭和41年度日本ハンドボール協会
国際競技会計収支計算書

(昭和41年4月1日から
昭和42年3月31日まで)

支出の部		金額
科目		
大会	大会	2,177,707円
善権	大会	1,600,000
親権	大会	3,777,707
中選	大会	484,293
世界選手	大会	4,262,000
計		
収入	収入	1,600,000円
大会	大会	2,662,000
計		4,262,000

昭和42年度一般会計予算(案)

収入		金額
科目		
基金	基金	6,518,816
金庫	金庫	110,000
材料	材料	410,000
料	料	1,300,000
料	料	350,000
料	料	1,200,000
料	料	150,000
料	料	50,000
料	料	3,220,000
計		(6,790,000)
支出	支出	13,308,816
役員	役員	300,000
費	費	2,200,000
務	務	77,000
判	判	400,000
外	外	262,000
術	術	1,300,000
及	及	650,000
計		5,189,000
補助	補助	600,000
金	金	300,000
庫	庫	110,000
費	費	1,250,000
料	料	350,000
計		2,610,000
越	越	5,509,816
計		13,308,816

昭和42年度機関誌会計予算(案)

支出の部		金額
科目		
印刷費	印刷費	1,650,000
製本費	製本費	350,000
取件	取件	320,000
18,000×16		
1,170×12		
1,800×22		
15,000×10		150,000
刷品	刷品	20,000
費	費	60,000
刷	刷	
状	状	20,000
葉	葉	30,000
書	書	683,374
等	等	
通	通	
費	費	
金	金	
計		3,283,374
収入の部		金額
科目		
購読	購読	1,900,000
前	前	700,000
期	期	683,374
計		3,283,374

一 一万円余をそのまま積みたてて、来るべきものに備えるという形をとっている。

予算案は一般会計ならびに機関誌会計の二つが提出された。これは各部提出の予算原案を予算委員会で調整したものであり、やはり一千万円を超えるものが提出される。

予算に盛り込まれた新しいものは、地方から上京する評議員、理事、専門委員に旅費を出すことになり、それが内容に入ったことと、日本協会が主催する各大会に補助

金が支出されたことである、この大会に対する補助金は全日本高校選手権に十万円、全日本学生選手権に十五万円、全日本実業団選手権に十万円、全日本総合選手権に十万円、全日本選抜選手権に十万円、全日本教職員選手権に五万円となっている。

機関誌会計は収支均衡のとれた形はとっているが、広告料収入の不安定な要素がかなりあり、協力をおおぎたいとの要望があった。本理事会の主な内容はすべて別記してあるので、それを参照されたい。専門委員会の審議もなされたが、それも別記してある。

9月9日又は10日に第1戦

西ドイツ、全国で22試合

本部協会では、6月18日の全国理事会で、今秋、西ドイツ男女チームの来日を確認、その日程などについて協議したが、9月9日(土)又は10日(日)に関東地区で第1戦、そのあと全国各地で22試合(現在の予定では男子12、女子10試合)を行うことに、意見の一致をみた。

対戦チームや詳しい日程はなお

本部協会では、6月18日の全国理事会で、今秋、西ドイツ男女チームの来日を確認、その日程などについて協議したが、9月9日(土)又は10日(日)に関東地区で第1戦、そのあと全国各地で22試合(現在の予定では男子12、女子10試合)を行うことに、意見の一致をみた。

対戦チームや詳しい日程はなお

日本ハンドボール協会検定球

モルテン

亀甲型 ハンドボール



モルテン工業株式会社
広島・東京・大阪



村田・稲石氏、技術委員に

新年度専門委員決まる

新年度の専門委員会のメンバーは、4月なかば以後の常務理事会で再三協議を行った結果、別表のとおり決まった。

各専門委員は、担当常務理事を部長として、その推せんで決定されたが、球界再編成ムードを反映してか、かなり大巾な変動がみられる。

【解説】発表されたスタッフをみると技術委員会は、前年度(40・41年度)のメンバーから中沢・佐野の二氏が残留しただけで一新。今春の世界選手権代表団監督の村田、同コーチ稲石氏が加わったのが注目される。また普及委員会はチーフ(部長)

専門委員会名簿(昭和42・43年度)

～本部指定委員のみ～

▷審判審査委(9名)

光一義吉	純暢信敬	藤江田崎	安入藤箱	富計郎	重太郎	崎田八	重太郎	若山葉島
				新太	三	田石	三	稲

▷規則研究委(6名)

強春雄	義文	本前塚	藤岡大	光夫侑	純和	藤野原	安佐藤

▷普及委(6名)

正一郎	年達	水野島	清宇津	陸健喜	永橋井	徳高石

▷技術委(用具)(10名)

弘二次	三英慶	田石橋	村稻高	夫浩	重繁	沢川	中勝北
博	金	藤	近	夫		野	佐

▷懲罰委(アマ)、少年团委 規程委(登録)は未定

▷編集委は、本誌32頁編集後記参照

(名簿は順不同)

がの場氏から徳永氏に変わり、異色とも思えるメンバーを並べたのはおもしろい。一家言もつ人たちの集りだけに、どのような手腕が発揮されるか期待してよ。

各パートとも順当な人選といえるが、問題点がまったくないとはいえない。特に、来年の女子世界選手権

(モスクワ)に日本の出場が内定しているながら、技術委員会に、近藤氏(東京重機監督)以外女子実業団の指導者たちの名前が見えない。ナショナルチームとコーチングスタッフの早期決定の重要性は各所でいわれていることだが、それでも決断できないところは、まだ

トップレベルを誇る女子実業団球界に今シーズンから「ほていや」(長野)、とブラザー工業(愛知)の二チームが参加する。復活のレナウン(東京)、本格的活動にはいる

女子実業団に新チーム

宗形製 作所(大阪)とともに上位陣に対してどのような試合ぶりをみせるか注目されよう。二チームの陣容は次のとおり。

まだ球界に「おとな」が少いということだろうか。ブロック選出委を加えて最終的にはどのような形になるか。注目される。

41年度優秀チーム決まる

決定のおくられていた「昭和41年

【ほていや】土屋、山崎(以上上田城南)、北沢、飯島(以上夢科)田中(小諸)小山(北佐久農)宮原(丸子実)秋山(梁谷丘)柳沢(朝月)

野、近藤、富田、本多(以上名古屋女商)梅村、浅井、平松(以上横須賀)井上、堀田(以上高蔵女商)、家田(稲沢)

なお未決定の三パートは近く人選されるが、少年团委委員会は普及委員会に合体されるという案も聞かえている。(S)

度優秀チーム(男6、女5)はこのほど次のように決定、6月18日の全国理事会で承認のあと発表された。○内は表彰回数

昭和41年度優秀チーム

③	④	④	②	③	④	③	④	②	④
(東京)	(埼玉)	(大阪)	(京都)	(埼玉)	(三重)	(熊本)	(東京)	(愛知)	
大大	大大	大大	大大	大大	大大	大大	大大	大大	大大
教工電	教工電	教工電	教工電	教工電	教工電	教工電	教工電	教工電	教工電
子立浦	子立浦	子立浦	子立浦	子立浦	子立浦	子立浦	子立浦	子立浦	子立浦
男全芝	男全芝	男全芝	男全芝	男全芝	男全芝	男全芝	男全芝	男全芝	男全芝
大立同	大立同	大立同	大立同	大立同	大立同	大立同	大立同	大立同	大立同
女大立	女大立	女大立	女大立	女大立	女大立	女大立	女大立	女大立	女大立
大日愛	大日愛	大日愛	大日愛	大日愛	大日愛	大日愛	大日愛	大日愛	大日愛



日本ハンドボール協会公認
**ゴールドスター
ハンドボール
シューズ**

岡山釣鐘工業株式会社 東京



7月末に「全日本」を發表

ナショナルチーム
ジュニアの編成も考慮

多年にわたり球界の懸案であった男・女ナショナルチームの編成案がこのほどようやく具体化、トツレベル強化に一貫した構想が建てられる見通しがつき、その成果が注目されている。

本部協会技術委員会は5月20日東京で新メンバーによる初の会合をひらき、主に、今後の「全日本（ナショナル）チーム」の編成と強化について協議した。

この会合に出席したのは中沢技術部担当常務理事をはじめ村田、北川、細井、稲石、勝、佐野、高橋、渡辺慶の各技術委員でまず重点方針として「ナショナルチームの強化」「世界選手権・オリンピック対策」「指導者の向上」の三点を決めた。

注目のナショナルチームについては、GK4名、FP16名でいどの編成で、原則として「前年度年間を通じての成績を参考とし、各年度初頭に発表、そのシーズン途中で優秀な選手が出た場合は追加する」とこととなった。

ただし、42年度ナショナルチームについては、すでに新シーズンに入り3ヶ月近くを経過しているため、41年度の大会参加選手と7月11日からの第10回全日本学生選手権を参考にして、7月末日までに編成する。また、恒例の41年度優秀選手の発表と表彰は今年はとりやめることもきめた（注・41年度高校優秀選手は2月に発表済み）

なお、7月末に発表されるナショナルチームのうち女子は、来年11月モスクワで開かれる世界選手権の第一次候補となるわけで、技術委としては、今秋来日する西ドイツ女子に対戦させ、そのあと年末から年頭にかけて強化合宿（詳細未定）を行いたい意向である。

同大会に臨むコーチング・スタッフの人選は、できるだけ、早い時期に決めることを申しあわせたにとどまった。

高技男女によるジュニアの強化については「ジュニア・ナショナル（仮称）」を編成して、ナショナル・チームと同時に合宿を行う

方針を研究して努力することになった。

ナショナル・チームの具体化で既存の年度優秀選手との関係が新たな問題となるが、表彰をベスト・セブンにしほろうという意見が強い。

これまでも再三ナショナルチーム編成の意見が出されながら掛け声のみにおわつた斯界が一九七二年のミュンヘン・オリンピックという大目標を前に、はじめてその強化策の一端が具体化されたこ

とは前進であり、成功を願つてやまない。

中沢常務理事の話「ナショナル・チーム編成は多年の宿願であり前途はかならずしも平たんではないがぜひとも軌道にのせたい。選手の選考は、技術委と本部協会競技関係役員からそれぞれ5名でいどの委員を出してあたりたて、また、遠征役員を早めに決めて、それらの人に加わってもらいたいとも考えている。」

全日本総合、推せんチーム決まる

8月22日から福井県高浜町で開かれる第19回全日本総合選手権大会に出場する男子32チームのうち、日本協会、全日本学連、全日本実業推せん会の18チームがこのほど次のように決まり発表された。なお各プロック代表（11チーム）と地元（福井）代表（2チーム）は7月10日までに決められる。組合せ抽せんは7月25日。

▽日本協会推せん（5チーム）

- 全立教大（東京）
- 芝浦工大（東京）
- 大崎電氣（埼玉）
- 大阪イーグルス（大阪）
- 同志社大（京都）

▽全日本学連推せん（9チーム）

- 日体大（関東・東京）
- 東京教大（関東・東京）
- 中大（関東・東京）
- 早大（関東・東京）

- 関大（関西・大阪）
 - 大阪経大（関西・大阪）
 - 甲南大（関西・兵庫）
 - 東北大（東北・宮城）
- このほかに東海学連から1校が推せんされる。

▽全日本実業推せん（4チーム）

- 住友化学菊本（愛媛）
- 宗形製作所（大阪）
- 常盤工業（岐阜）
- 本田技研（三重）

インター・ハイ 各地の代表つぎつぎと決る

8月2日から和歌山県で開かれる第18回全日本高校選手権大会の各県予選は5月上旬から全国各地で行われているが、鳥取県代表を皮切りにぞくぞくと晴れの代表校が決まっている。

男子注目の激戦地東京は神代、中大附属、愛知は桜台、名城大附属が勝ち名のりをあげた。

なお、前年度優勝の男子・明星学苑高（東京）、女子・秋田和洋女高（秋田）は推せん出場する。

組合せ抽せんは7月7日和歌山県庁で行われる。（各地の詳細と大会の予想は次号）

早くも国体予選

10月22日から浦和市（埼玉）で開かれる今年の国体予選のトップを切つてこのほど名古屋で、愛知県一般女子リーグの第1戦愛知紡一ブラザー工業の試合が行われた。進境著しいブラザーが前半5-4とリードしたが、愛知紡は後半地力を発揮、結局18-9で勝った。

また茨城県では6月25日すでに一般男子の予選を終了、原子力研究所が関東予選への出場権を得た。

西部日本学生、詳報

(一部成績既報)

第17回西部日本学生選手権は5月27・28日山口大経済学部グランドに中四国学連8校、九州学連7校の計15校が参加して開かれ、九州1位の西南学院大が山口大を延長のすえ破り2年連続優勝した

西南学院大15―11 広島商大

▽準決勝

山口大 20 (13) 7―8 岡山

学連大 22 (14) 8―5 鹿児島大

▽3位決定戦

岡山 16 (7) 9―8 15 鹿児島大

▽決勝戦

西学院大	南13	5―4	4―5
山口大	10	3―1	1―0

▽1回戦

岡山 大	29―9	福岡工大
九州 大	18―13	山口大(工)
九州産大	26―17	広島大福山
山口大	29―10	東海大
広島工大	12―9	熊本商大
鹿児島大	5―4	広島大
広島商大	7―6	近畿大(工)

▽2回戦

岡山 大	17―8	九州大
山口大	24―20	九州産大
鹿児島大	24―16	広島工大

めったったラフ・プレー

～関東学生春季リーグ回顧～

進境いちぢるしい東女体大

〔記録前号既報〕創立30周年を迎えた関東学生春季リーグ戦は男子1部立大、2部明大、3部明星大、女子日体大の優勝で閉幕した。

○：男子1部で3連勝した立教大は世界選手権代表木野、北村を

軸にすばらしい攻撃力を見せ、危げない試合ぶりで全勝した。木野、東の強烈なシュート力を北村、野田のポストマンがうまく活かしておりその多彩さと試合構成力は抜群である。

名手尾形の卒業で心配されたGKも天野が無難にこなし大きな破たんをまねかなかった。攻防両面で自信満々の立教だけにその連勝をストップさせるのは秋季においてもかなり難しいのではなからうか。

○：2位の日体大は、よく走ったことが好成績の因。ポイントゲッター神谷をはじめ大宮らのチームプレーは、試合巧者の伝統を久しぶりに見せたといえよう。芝浦工大の3位は意外だったがスピードにたよりすぎてかえって自滅していたようだ。巧者近藤の卒業でエース近森を活かす切れないのもひびいている。

4位以下にならんだ教大、中大、早大、法大の実力は紙一重だが顔ぶれからすれば教大、早大はさらに上位へ進出するだけの力をもっている。4校とも試合ごとに調子の波が変わる「不安定」をとることが今後の課題であろう。

○：秋季から一部に返り咲く明大は勝利への執着心と粒ぞろいの布陣で一部でも上位の成績を示すことができると思う。

女子は日体大の連勝よりも東女体大の進境が特筆される。今春のリーグ戦で男女を通じてのこれはハイライトだ。

両校がしのぎをけずりあって、実業団のトップチームと互角にわたりあう日が来るのを楽しみに待

ちたい。

○：今春のリーグ戦全般を通して反省をうながしたいのは、ラフ・プレーが目立ったことだ。

斗志と粗暴を混同し、「勝つ」ためには手段を選ばずといった風潮があるのは学生スポーマンとして恥ずべきことである。

連盟の意向として、若いレフェリーの登用を積極的にしたがため、その「若さ」がラフプレーをみのがすことにもなっていた。審判技術の向上も急務であろう。昭和13年5月第1回リーグを開いて

岡山大、3シーズン連続優勝

春の中四国学生リーグ

春の学生公式戦最後を飾る中四国学生春季リーグ戦は6月17・18日岡山大学球技場に一部5、二部5(広島工大新加盟)校が参加して開かれ、一部は岡山大が全勝、3シーズン連続優勝を飾った。

▽一部

岡山 大	21―9	広島商大
山口大	27―10	山口大工
岡山 大	24―14	広島大
広島商大	15―10	山口大工
山口大	30―14	広島大
岡山 大	12―10	広島商大
岡山 大	14―11	山口大工
広島商大	19―13	広島大
岡山 大	19―14	山口大
広島大	20―10	山口大工

▽二部

愛媛 大	22―15	近大工学部
松山商大	23―14	近大工学部
松山商大	18―11	近大工学部
広島福山	29―12	愛媛大
広島工大	24―13	愛媛大
松山商大	16―14	近大工学部
山島工大	19―17	近大工学部
近大工学部	22―14	愛媛大
【二部順位】	①広島大福山	②松山商大
	③広島大	④愛媛大
	⑤近大工	

以来ちようど30年。加盟校の増加でリーグの運営も広がる一方だが、ともかく土・日曜にはOBをはじめ多数の観客(有料)を動員出来るまでになったのは喜ばしい。

今シーズンはグラウンドの関係でウィークデーにも日程が組まれていたが、学生スポーツのありかたからみてこれは好ましくない。土曜の午後と日曜だけで全日程を消化するように努力したい。(安藤純光・関東学連理事長)

激戦のAブロック 男子

全日本学生組合せ決まる

7月11日から5日間東京・駒沢球技場で行われる第10回全日本学生選手権(女子は第3回)の組み合せ抽せんは、6月20日東京で行われ別表のように決まった。

男子はこれまで通りトーナメントで史上最高の35校が参加。女子は7校によって2ブロックによる予選リーグと決勝リーグ。左表の○内数字は出場回数。

【男子】関西のは者・同志社大が姿を見せぬ以外は有力校がすべて

エントリ。10周年大会を記念するにふさわしい内容が期待できそうである。

京大、日体大に対する関大はもつれる可能性も出てこよう。

組み合わせをみるとAブロックに2連勝をねらう芝浦工大をはじめ日体大・関大と東西春の2位校と、地方のホープといわれる中京大、西南学院大などが集り、最大の「激戦地」になった。

どこが勝ち残るにしても、次から次へと強豪と当るわけで容易ではない。順当なら芝浦工大―日体大だろうが、芝浦工大に対する中

は許さない。Cブロックは東京教育大、中央大、明大の関東勢の争いとみられるが関学の奮起、東北学院大の食

をひいた。上り坂の大阪経大がどこまでやるか。早大も意欲充分だが今年の立大には一歩ゆずらざるを得まい。

波乱なく進めば準決勝は芝浦工大(又は日体大・関大)―法大、東京教大(又は中大)―立大となるのではなかろうか。この4校では関東学生春の実績からみて立大がやはり最有力ということになる。

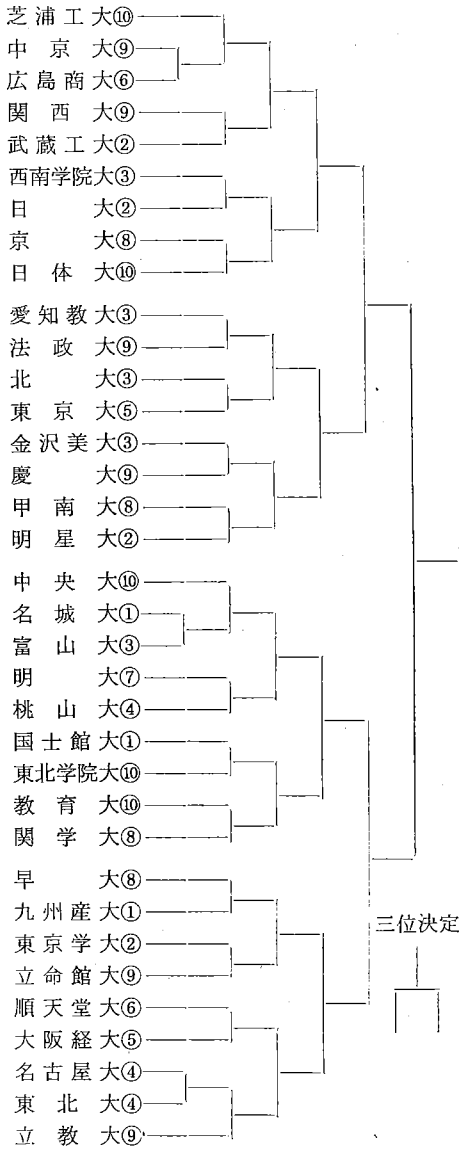
大会の盛り上がりは関西及び地方勢の試合ぶりにかけられているともいえ、関大、甲南大、関学、大阪経大、中京大、西南学院大の奮戦を特に期待しておきたい。

【女子】参加7校をまず2組に分

【女子】参加7校をまず2組に分

【女子】参加7校をまず2組に分

男子トーナメント



女子

予選リーグ

【A組】

- 日体大 ③ 中京女大 ②
- 日女体大 ③ 松阪女短大 ②

【B組】

- 東京女体大 ② 中京大 ②
- 東京学芸大 ②

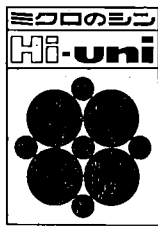
決勝トーナメント

予選リーグ上位2校による決勝リーグを行なう。ただし同一チームの対戦は予選リーグの成績をそのままいかす

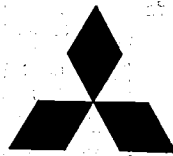
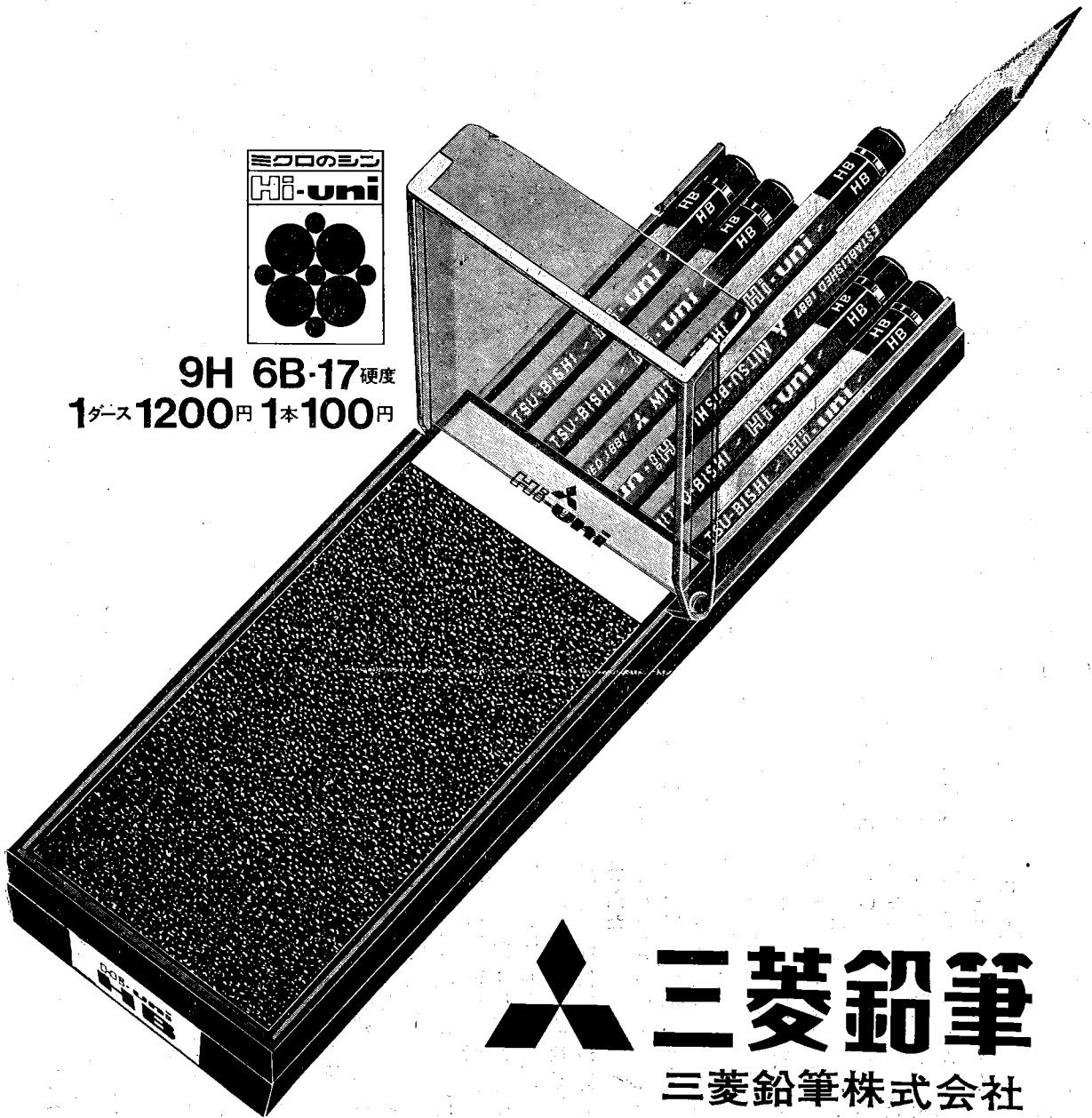
【女子】参加7校をまず2組に分

ハイユニ

黒く・濃く・きれいに書ける理想のシン
そのヒミツは
理想の粒度配合



9H 6B-17 硬度
1ダース1200円 1本100円



三菱鉛筆

三菱鉛筆株式会社

「」のよびにして世界選手権を獲得した

チェコチームのコーチ、ベードリツヒ・ケーニツヒは語る

チェコスロバキヤが今春の第六回男子七人制ハンドボール世界選手権大会で優勝したのは周知の事実である。

チェコスロバキヤチームを世界の王座につかさせたのは、もちろんチェコのハンドボール関係者の一致協力があったからであるが、何と云っても、一番大きな貢献をしたのはチェコチームのコーチ、ベードリツヒ・ケーニツヒである。

一九六七年一月二日、ロックランド室内体育館で、第六回男子七人制ハンドボール選手権大会の決勝戦終了の笛が審判ヤネルスタムスの手で吹かれた。チェコチームがデンマークチームを14-11で取り世界の王座についたことを告げる笛だ。

チェコチームの選手はもとより関係者すべてがおどろし、喜びあっているなかで、過ぎし日の憶い出にひたりつつ、長かったこの日まで道の考えを果せ、一人感慨にふけりいついて来る男があった。彼の脳裏に去来したのは、一九六四年の第五回大会の準決勝

でのルーマニアとの試合(15-16で敗戦)であり、一九六一年の第四回大会の決勝戦(ルーマニアに8-9で惜敗)であろう。とびあがり、勝利を喜んでいる人々より、どれだけ深く、彼がこの勝利をじつとかみしめていたかは判らない。

この男こそ、チェコスロバキヤチームを世界に冠たらしめたコーチ、ベードリツヒ・ケーニツヒである。

ベードリツヒ・ケーニツヒは一九三〇年一月二四日、ポーランドとの国境に近いオルムツ近郊に生れた。幼少年時代をナチの占領下に過し、長ずるにおよび、一九四八年にこの地方に古くから行なわれている球技、ハゼナ(東欧圏に古くから行なわれているハンドボールに類した球技)をはじめ、翌一九四九年には、七人制ハンドボールをはじめた。

一九五一年には、チェコ第一のチーム、デュクラ・ブラグに加わり、一九五三年には栄あるナショナルチームの一員になった。以後多くの国際試合に参加して

いる。七人制の試合二二、一人制の試合一四という豊かな国際試合の体験をもち、世界選手権にも四回選手として参加している。七人制大会は第二回の一九五四年の第三回(於西ドイツ)、一九六一年の第四回大会(於西ドイツ)、一人制大会(一九五五年の西ドイツに於ける大会にそれぞれ選手として参加している。一九六〇年一月デュクラ・ブラグのコーチとなり、

一九六四年の大会には、マルツ教授とともに、チェコ選手団を率いている。

彼はベテランのコーチであり、充分な、彼の意図した形での準備を行なってきた。優勝して十日後、彼のチームである。デュクラ・ブラグを率い、ヨーロッパカップのため滞独した時に語ったのが次のような内容である。

☆ ☆ ☆

第五回世界選手権終了後、チェコスロバキヤハンドボール界がまず、最も力を入れたのは、国際試合を豊富にやることにあった。この目標は充分達成されたとは云え

なかったがますますの成績を挙げることができた。

まず、一九六四年には、ユーゴスラビアと、次いで、ベテランのトロヤン、ラダ、ビチャ、インクなどを抜かした新進チームでポーランド、ハンガリーと試合をした。この時期からすでに組織的な準備をはじめた。我々は新しい選手を、新しいタレントを探しはじめたのだ。古い、経験の多い選手はどんどん補充していかなければならぬ。古い選手というのは十分知っているが、それ以上を出るものではない。これらの試合はユーゴとは18-12、ポーランドとは14-9、ハンガリーとは24-11で勝ち、初期の目的を上げることにできた。一月後には、ブタペストに遠征した。この試合は比較的楽であったため、新人を多く登用し、彼等の国際経験を積みこ

とができた。ブルガリアに34-10と勝ち、またハンガリーにも28-15と大勝した。ここまでは、この年は順調であったが、次にルーマニアを迎えうった時はそうはいかなかった。

この時のルーマニアチームはモーゼルを欠いていたが、すでに成長著しいグルイアがエースとして登場していた。終る十分前までは快調に試合を進めていたが、12-18と大敗をしてしまった。

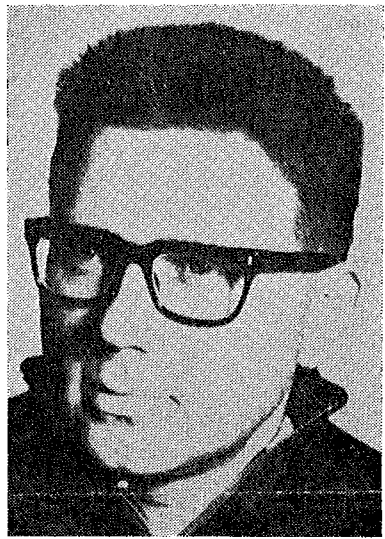
この年の暮、スカンディナビアに遠征をした。この時もラダなどのベテランに代り、新人を連れていった。これはチェコチームにとって、大きな試練であった。一週間に五試合を行なうという強行日程をたてた。スウェーデンと二試合、デンマークと二試合、ノールウェーと一試合である。

結果はスウェーデンとは一勝一分、デンマークとは二試合とも好試合であり、一つは15-15で引分もう一試合は13-14で惜敗した。ノールウェーには問題なく勝つことができた。

一九六五年はチェコチームにとってよい年ではなかった。国際試合も十分にできなかった。まず東ベルリンにのりこんでの、東ドイツとの試合は11-15で敗れた。ついで世界選手権の予選が行なわれはじめた。

ブラチスラバにオーストリアを迎え、35-15で敗り、ブラグにノールウェーを迎え、これまた15-9で敗り、六五年の予選は終わった。この年はあと西ドイツとブラグで試合を行ない、28-16と大勝しただけにおわった。

一九六六年はまず東ベルリンに新しいナショナルチームの顔見せを行ない、帰りはブタペストにより、両方で勝利を得た。一月末には、エッセンで西ドイツと対戦し、これには20-26で敗れた。三月になり、世界選手権予選のリタ



チェコナショナルチームコーチ、
ベドリッヒ・ケーニツヒ

ーンマッチがはじまった。

まずオーストリアとウィーンで対戦し、22-19で敗り、ノールウェーとはエレベラムで対戦、22-20で終った。この試合はきわめて困難な試合であった。というのはヨーロッパで六六年に優勝したD.H.K.ライプツヒとの試合のため、ナショナルチームに入っている数人がデユクラ・ブラーグとしてライプツヒの試合にさかれていたからである。

五月、六月には、ナショナルチームの候補選手三十人がブラーグに集り、最初の合宿がはじめられた。ここから、コーチ陣の選手の撰択がはじまり、秋の準備期間までには、選手は決定されつつあった。一月の二〇日に再び合宿が行なわれた。ここでは選手の数は二五になり、オルムツ、フラーニスなどで練習は続けられてい

間を一六人に絞った。中には、一人にしておけとの声も強く、事故があったらどうするとの反対の声もあったが、私はそれを押し切り、一六人にした。というのは、一人にしておいた場合の選手の心理的負担があまりにも大きいことを考えたからであり、これに比べれば、事故は問題ではないと判断したからである。

この第二の期間には、徹底して相手に対する研究を織りこんだプレイを練習した。しかも細い点、たとえは退場になった場合の処理の仕方、フリースローの際、相手の巨砲をどのようにして押えるかといった練習である。グルリアをどうやって押えるかもこの時研究した。

攻撃、守備のコンビネーションプレーもこの時に十分に練習したことが実った。前に行なった六つの国際試合もチェコチームの弱点を知るには大いに役だっていたから、この弱点をカバーすることも重要な課題であった。この時にも国内の主要チームを相手に選び、守備体制を5:1、4:2、3:3と種々に変え、また攻撃する時にもそれぞれ仮想敵に合わせた体制をしき、対戦した。この時には、10分間あるいは15分間の試合を4回やり、最初の10分間は守備陣形を5:1にし、次の10分は4:2にするといった、それぞれ

の目的に応じた試合を行った。この時世界選手権チームは常に数点のハンディを背負いそれを挽回するという形で試合を行なった。

また多くの筋力をつける運動も行なった。その上、太る体質の選手には特別な献立を作り、太らないようにつとめた。数キログラムやせ、きわめて調子よくなつた選手もあった。また、肺活量、心臓のパルス等もスイス、ルーマニアとの試合時に計り、その後の練習に大いに役立てた。交替の時期その他が適確に捉めるようになったのは大きい。

スウェーデンで対抗するであろうすべてのチームの試合はこくめにフィルムに納め、徹底的にそのくせのみこんでいた。これは選手にも十分に判るまで上映し、参考にさせた。たとえば、ブラーグで行なったルーマニアとの試合は3方向から撮映し、ルーマニアの特徴を余すことなくフィルムに納めた。

また多くの無記名調査も併せ行なった。これは選手に対して行ない各選手に書いてもらった。たとえば、試合中にコーチを注意していたか、レフェリーの指示は、観衆はどうか、同チームの選手はどうかといった質問をし、90パーセントの回答を得、大いに参考になった。しかも非常に好評であった。それに次いで、現在、チェコの

ナンバーワンプレーヤーは誰と考えるかといった質問もしたし、更には今大会で何位になれるかとの質問には、二人が四位、あとは少くとも三位にはなると答えたのは興味深い。

各国はそれぞれの準備をしていたと思う。スウェーデンは室内でやりなれているし、ルーマニアは十二分のトレーニングを積んできて、三度目の王座をねらうであろうし、チーム力をあげてきている東ドイツはどうなつたろうか、西ドイツは国内リーグの戦がたけなわであり、ソ連も十分に力を貯え、好成績を狙っているとか種々の情報もたらされた。

我々のチームは独自の方針で、この一九五四年に大会を開き、優勝した国にのりこむことになり、その通りにした。その時の私のいつわらない感情は、どこの国も力をつけているので、どこの国もチャンスは公平であると考えていたものだった。

以上のようにケーニツヒは述べ世界選手権をとるためにした努力を語っている。彼は今回の世界選手権獲得によって、チェコスロバキヤスポーツ連盟から、功勞コーチという称号を彼の誕生日の前日に贈られている。信頼を説くコーチとして、益々チェコのハンドボールを発展させていくであろう。

個人技術が基本

強 本 藤 訳

(日本協会常務理事)

先号まで西ドイツの技術研究を連載してきたが、今回から数度にわたって、フランスの技術研究を連載していく。

フランスの7人制ハンドボールのレベルは超一流とはいえないが、けつして低いものではなく、IHF(国際ハンドボール連盟)の技術委員会のメンバーをも出しているぐらいの高いレベルをもっている。

今回から連載していくのは、このフランスから、IHFの技術委員に選ばれているルネ・リカール氏とJ・パントウロー氏の共著になる「7人制ハンドボール」を中心にして紹介していくことにしたい。

この本は技術、戦術、トレーニング、体力の四つに大きく分けて書かれている。

両氏ともフランス選抜チームの役員をつとめており、特にリカール氏はフランス選抜チームの技術面のコーチとして広く知られている。

内容もトップレベルにあるものから、ごく初歩的な入門者に至るまで、充分に利用できるように、高度の内容をごく平易に書いている。

本文には図が多くないが、つとめて、図も多くし、判り易くしていくつもりである。

個人技術

技術と戦術の差は単に説明を判り易くするというだけのものであり、実際の競技の場合にはこの二つの要素は常に一緒になっているものである。

ハンドボール競技において、技術は与えられた力でもって、より多くの成果を達成し、より多くのゴールを得ることである。技術的に相当な域に達している選手はごく少ない力で大きな成果を得るものである。

技術は多くの細かな実際の練習(フットワーク・キャッチ・パス・シュート・ドリブル等)を規則正しく行なうことによつて習得されるものであり、完成への過程として多くの練習が採用され、欠点は克服されなければならない。

一般的にいって、技術によつて述べられる基礎的な法則は決つて、選手個人の自由、性格、フォームを拘束するものであつてはならない。ハンドボールにおける一つ一つの練習はそれを行なう選手の性格と密接な関係にある。フォームというのは基礎技術に個人



第1図

の性格の加わつたものである。各選手は彼の神経、体力、筋力に応じた技術、彼のチームメイトとは異つたあるいは相手にとつてマークを必要とするような方式を持つては良い。

一、選手だけの基本練習

基礎姿勢(第1図)

各選手はどのような姿勢にも対処し得る体力的・精神的な姿勢をもつていなければならぬ。それは良く平均のとれた、柔かな姿勢で、重心を低くし、ひざはまげ足は肩の中と同じに開いて、体は正面に向け、腕は体につけ、完全に力を抜いた状態である。この姿勢は「注意をこらした脱力状態」と呼ばれ、スタート、ダッシュ、リズムを変える等すべての要素が競技の中で常に必要としている。

フットワーク

これはアメリカのフットワークのことであり、足の動かし方である。このフットワークは方向を変える時、走る方向を急に変わる場合、非常に重要な物となるのである。守備、攻撃ともに十分な特別な練習をしなくてはならない。

a 防衛

ボールを持っていない時のアタック

姿勢
基本姿勢をやや高くとり、足を狭め、脚をややまげ、腕はインターセプトの準備をし、重心は両足にかける。

位置

ゴールと相手の間に位置し、相手に対してはもつとも大きく、ゴールに対しては、もつとも狭くなるような位置にたつ(特に相手を圧迫し、更にインターセプトできるようにこころがける。)

準備

いつでも足を横にも、前にも動かせるように、しかもけつして足をクロスさせないようにしなければならぬ。足は地上をすり、いかなる変化にも対応し、前後左右に動けるようにしていなければならない。

ボールへのアタック

足はややあげ、腕もややまげ、手はやわらかく、インターセプトできる方向に置く、高いボールの場合には、高く伸ばし、低い時には下に伸ばし、アンダーパス、ドリブルをカットする。横の場合には、横に伸ばし、中位の高さのパスをカットする。ここで強調しておきたいのは、ボールをカットする際には、手が非常に重要な役割をするということである。

第2図に見られるとおり、シュートボールをカットするのは、

きわめて重要なことである。これはシューターの手からボールがゴールに向わないようにするのである。シューターから1-1-5メートル離れた位置にいるのが成功の率ももっとも高い。より離れた位置にいと、ボールが離れる角度がより大きくなるため、カットはきわめて、難しくなる。

より近い位置にいと、シューターの手を見るのが難しくなりカットのチャンスがなくなつてしまう。

防禦に入る者は必ずシューターの利き腕の側に位置することが肝要である。軽く手を曲げ、しかもゴールキーパーがボールの動きとシュートの際ボールがシューターの手を離れる位置が見られるようにしなければならぬ。

位置が決つたならば、両手はすぐにボールがカットできるような位置にする。

カットする際には、両手を第2図のように交差させたほうがより有効であるが、第3図のようにしても差支えない。

カットに出る際には、単にボールのみを見てはいけない。ボールと相手を均分に視野に入れおきながら、カットに出るのが良い。

シュートされるボールをカットするのは、守備側としては、非常手段であり、それまでにシュート

を阻止するような方法をとることが望ましい。

ディフェンスに入つていて、シュートを阻止しようとして前に出るときには、シュートフェイントには決つてかからないように、足の中、重心の置き方には十分注意しなければならぬ。

この項をおわるに当り、ディフェンスに於いて、もっとも効果的なインナーセプトについて触れおく、



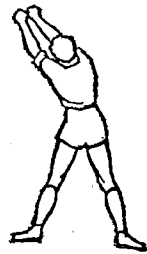
第2図

基本姿勢を崩さないで、十分にボールに注意を払い、自己の能力、速度と相手のボールの動きを熟知していくことこそ、成功する基になる。また守備側のコンビも十分にとれている必要がある。

たとえば1-5防禦をしいていて、中央に出た一人が巧いならば、後例の中央の左右に位置しているもの(1-2-3システムならば、2に当る位置の選手)は大いにチャンスが生れる。

基本姿勢をとり、いつでもスタートがされるように前足に重心をのせ相手のスピードを方向を充分に見定め、自己のインナーセプトの能力の範囲にあると判断した

ならすかさず、とびだす。このインナーセプトというのは、もっとも効果的なディフェンスであるのはいうまでもない。相手の攻撃の芽をつみとるだけでなく、自分の攻撃が行なえるのである。またインナーセプトした場合、しばしば速攻のチャンスになり、たちどころに絶好のチャンスが訪れることになるからである。



第3図

同様にドリブルカットもきわめて重要である。これも距離を充分に測り、相手のスピードを知ることが大事である。

(補) ゴールエリアラインからシュートする際、シューターの手からボールをカットする技術も充分に磨いておかなければならぬ。これはきわめて、重要な要素となつてゐる。

スタートの際には上半身を前傾させ、足は力づよくけり、最初はこまたししかも多くのステップで走りだすのが良い。

例、左のサイドに入つてゐるのは左サイドからスタートし、自分についてゐるディフェンスをふり切り、中央に入つていくだけのスピードを身につける。

(フェイントを伴つて) フェイントをかける際には、シングルフェイントとダブルフェイントがある。フェイントというのは、自分の動こうと思つた方向に走りこめるように相手を動かしてしまふことである。相手を意のままに動かすことがフェイントであるともいえる。

まず、第一段階として動く、これは通例、自分が意図する方向とは逆に動き、すぐに切りかえて自分の思う方向に動く。これがシングルフェイントである。またバックフェイントの組み合せによるフェイントも考えられる。これによつてバックを動かし、意図するところのものを行なう。

フェイントが巧みできるかどうかは、動きの速さ、次の動きに充分余裕をもつてゐることの二つにかかつてゐる。またフェイントのリズムも大切である。タイミングの遅れたフェイントでは、決つてバックはかからない。

例、パスのフェイントをした後

すぐにシュート。シュートフェイントのあとすぐにパスをする。シュートフェイントのあと、ドリブルして突進

ディフェンスの動きがもっとも大きい時に次の行動に移るのがフェイントのコツである。

例、左へスタートする場合、まず左足に体重をかけ、右にスタートするようにし、左足に体重をかけておき、右足を動かし、すぐにピボットして、足も体も左にスタートする。この時肩と体で相手をささえるようにする。同様に全く逆に行えば、右にスタートすることが出来る。

ダブルフェイント、これは先に述べたことを、同様なプロセスで、左右左と行なつてからスタートする方法である。

各選手が豊富なフェイントのテクニックをもつてゐる、高度な技術のチームでは、それぞれの選手があらゆるパス、シュート、フットワークのほか、種々のフェイント(たとえば眼、肩、頭などを使う)をもつてゐる。

チームの全員が、組織的に、コンビネーションをとつたフェイントの練習をするのが望ましい。これを充分に練習しておけば、単純な一人の動きではとてもできない組織的なフェイントブレイをチームとして行なうことができる。

チームの全員が、組織的に、コンビネーションをとつたフェイントの練習をするのが望ましい。これを充分に練習しておけば、単純な一人の動きではとてもできない組織的なフェイントブレイをチームとして行なうことができる。



カラー写真ならもっときれい！



現像とカラープリントはお近くのカメラ店で
〈フジカラーサービス〉とご指定ください

フジカラーの純正現像

- フジカラー N100
- フジカラー R100
- フジカラーシネ 8mm・16mm
- トッキー映画(磁性体塗布加工)
- フジマグネオストライプ
- 小型映画フィルムの複製
- フジシネコピー

美しいカラープリント

- フジネガカラープリント
- フジポジカラープリント
- フジダイカラープリント
- フジ G カラープリント
- フジネガカラースライド
- フジポジカラースライド

フジカラーの総合現像所

株式会社 フジカラーサービス

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

時評

○：最近どのアマチュア競技団体でも「観客サービス」ということにチエをしばっているようにオリンピック東京大会以後の大会運営の手のよさとあいまってファンの支持・好評を得ているようだ。

サービスといっても、プロとはちがいが、おのずから限度があるのは当然だが、見る側の便宜を考えて「見せる」努力をしているのは歓迎してよい傾向だと思ふ。

サッカーが驚異的な進出をとげたカゲには日本リーグをはじめとする卓抜した若い企画力があつたことは周知のとおりだし、伝統を誇る陸上競技や水泳の大会でも花形スポーツアウンサーをつかかってたくみな進行をみせている。

○：去年の11月東京で行われたバスケット

おもいつくまま

予算原案が呈示された。各部から提出された原案は非常に大きなものであつたと聞いている。

それを何とか調整し、原案に達したとの話である。調整し、こうした原案を作るのはさぞかしの努力があつたことであろう。

各部ともやりたいことはままあり、思うように運営するには、まづ金であろう。乏しい財源をやりくりするのであるから、どこも思うようにはいかないに違いない。

一銭でも多くというのが真情であろうし、それをもつともなことということができる。

しかし、限られた財源をより効果的に運営していくのはどうしたら良いかというこ

トボールの学生東西対抗では、試合のあいまに学生のフォーク・ソングバンドがコー中央で演奏をおこない場内の雰囲気をやわらげるといふ奇抜なアイデアを見せた。

この風景にでくわして記者がいちばんおどろいたのは、それまで選手の美技・妙技

欲しい見せる努力

観客動員に新鮮な企画を

に声援していたファンが、メロディが流れはじめると、すっかり音楽をたのしみ、手拍子さえ打った「変り身」である。

以前の試合場なら、たとえこうしたアトラクションがあつても、あくまで「添えもの」苦々しい顔をするファンさえいた。

それがどうだろう。熱狂の試合場が瞬時

とをもつと巨視的に見ていく必要があるのではないだろうか。

全額を投じたところでしれたものである。それを各部、各加盟団体が欲しいのにも判る。各部、加盟団体とも財源がなく、個人の出費あるいは労力奉仕に頼つて、やっている実情も確かである。こういった状態

にして「音楽会」になつたのである。

ファン層のうつりかわりをこれほどはっきり感じたことはなかったし「スポーツのみかた」の変化も知らされた思いだった。

バンドが退場して試合が再開されるや、バスケットボールに再び魅了されたスタン

ドにもどつたのはもちろんである。

○：試合場にバンドを呼ぶことの是非はともかく、オリンピック東京大会以後スポーツ熱の高まりを反映して「今日ではじめてこの競技を見にきました」といふ観客が目立つ。

そうした観客を逃さぬことが大げさなれば、競技の発展につながることに

ではないだろうか。

一年、二年先しか考えずに、いくら考えて重点投資したところでその後のアフターケアがなくてはならない。

現時点に於いて、日本ハンドボール界全員が我等は今何をなすべきなのか、重点はここ五年は何に置くべきなのかを十分に考

長期の見通しと財源の確保を

があるべき状態ではないのは明らかである。せひとも全員協力して財源の確保をすべ

きであらう。

それまでの協会はどこに重点投資をすべきかを五年ないし、十年の見通しをもち、充分に討論をつくし、財源の配分をすべき

しないだろうか。

ハンドボール界の場合、残念ながらこうした企画力、演出力はまったく乏しい。

観客の大半は、高校や大学の部員なのだからいままら競技の解説をしたところで、

という甘い考えが強いのだ。

そんな気持ちで、誠意のない選手紹介になり、おどろきの開会式に現れる。

観客サービスといつてもショウをやれというのではない。

仮に、その日ハンドボールを初めて見た人が一人であつても、ハンドボールを理解してもらつた努力をほらうべきだといふのだ。

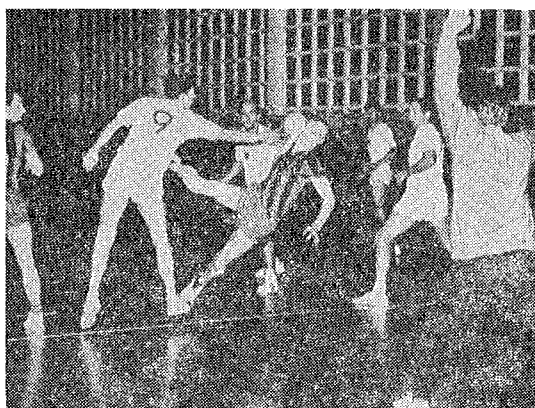
企画もなく努力もなくはいつまでも発展は望めないのではなからうか(S・S)

ケ年計画でも打ち出し、重点的に予算も入もつて、その目標はこの五ケ年間に達成するように全員協力していくといった体制を確立することこそ急務とならう。

財源の確保これは先号で杉山氏が触れているようにすぐにはなかなければならない。

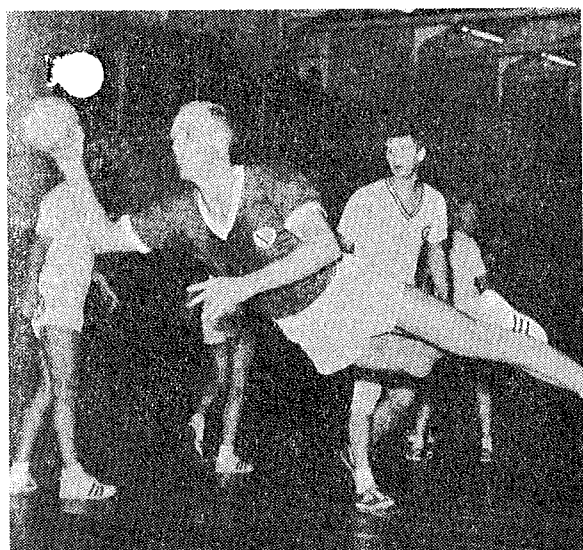
寄付金、試合の有料化、協会発行の解説書の刊行による印税等々探せば財源はいくらでもある筈である。

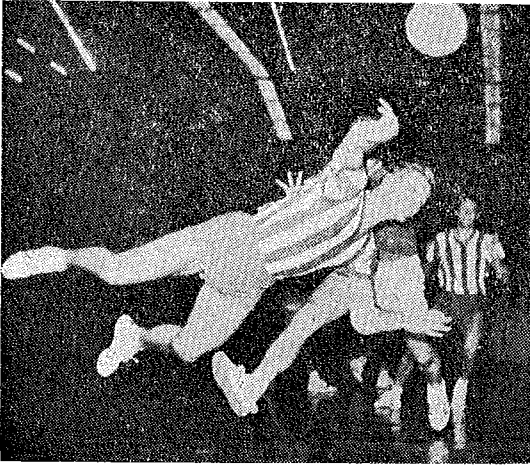
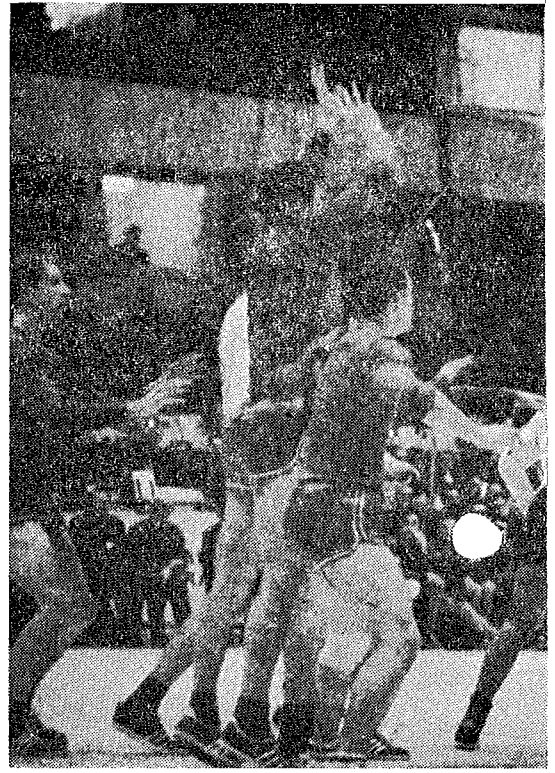
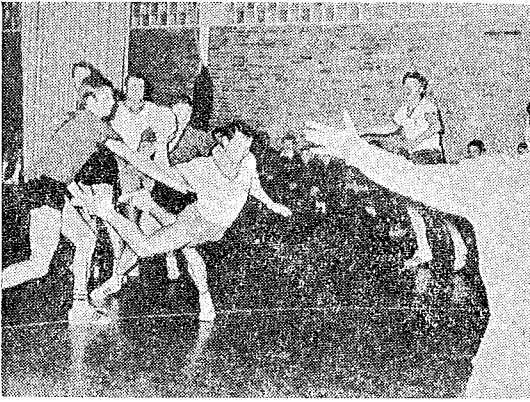
一致協力して、長期の見通しをたて、財源確保に努力しよう。名案を編集部宛にどし寄せられることを期待する。本誌が種々の問題の討論の場になることも併せて期待する。(T・S・F)



ノヨンあれこれ

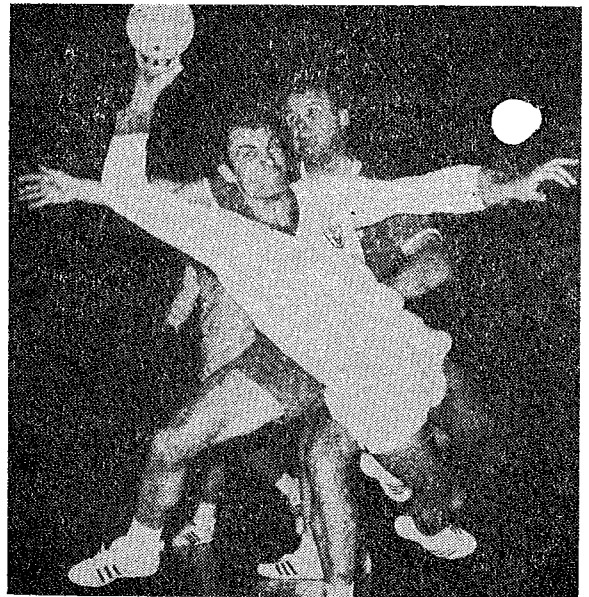
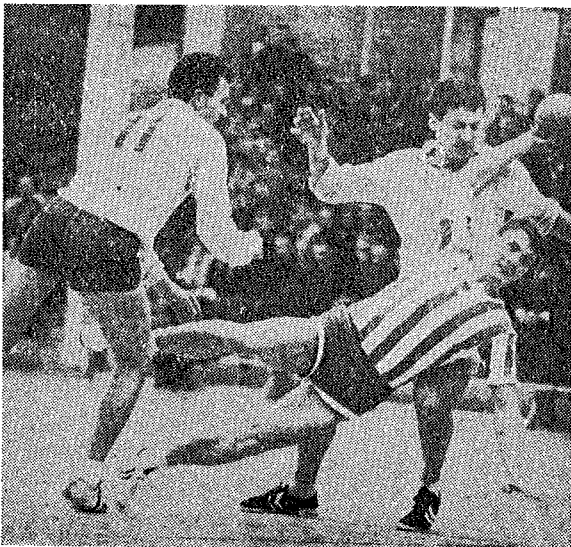
ールヴォッへ”より～





シュートモー

～“ドイチェ・ハンド”



ゲオルゲ・グレイア ルーマニアの生んだ 驚異的選手

ルーマニアのナショナルチームは今年度の世界選手権では、新旧の交替がうまくかみあわず、三位にとどまったが、今大会では、従来のエース、モーゼルに代り、サウスポーのロングヒッターが登場した。

ルーマニアがハンドボールの選手作りに一生懸命であることは広く知られているが、ここに紹介する選手もこういつたハンドボールの選手として養成された一人である。

先に行なわれた世界選手権のジュニア大会で、ルーマニアが優勝したのは既報の通りであるが、ここに登場するグレイア選手もこれらジュニア大会の優勝メンバーとともに、ここ何年かのルーマニアチームを背負ってブレインしていくことは確かである。

その選手の名前はゲオルゲ・グレイアと呼ばれている。彼がグレイアという名をもって

いないならば、「身の毛をよだたせる男」と呼ぶのがもつともてきとうではないかと西ドイツのハンドボール記者ハンス・アプフェルは語っているほど、グレイアのシユートはすばらしい破壊力をもっている。

彼は単に国際的名声を誇っているゴールキーパー全員に恐怖をおこせるだけでなく、彼と対戦するチーム全員に恐怖をもたらしている。

遠くから放つグレイアのロングシユートは確実に決る。彼は全速力でそのダッシュとそれに続く、彼独特の高い遠いジャンプ、その高い位置からの誰にも妨げられない強力、正確無比のシユート、これがゴールの上のコーナーにピンポイントで決るのであるから、各国デイフェンスの恐怖の的になるのも無理からぬ話である。

今回の世界選手権では、得点王をリョープキングにゆずったが、

これは、彼をカナダとの試合に休ませたルーマニアのコーチ、クンスト氏の配慮によるものである。身長は一・九四メートルとルーマニアでは第二の長身である。(身長第一位はロングヒッター、ローランド・グネスであり、グネスは一・九六メートルある) 過日の世界選手権では、チエコとの試合には11点を、ソ連との試合には3本の7Mを含め12点をたたきだしているのだから、まさに驚異的存在である。

このような状況であるから、国際的に有各なチエコのコーチ、ペードリツヒ・ケリニツヒ、ソ連を一流レベルまで引きあげるのに多に貢献した名コーチ、ゲオルグ・シヤラシンドセもグレイアには一人人間をつけ、マン・ツウ・マンで当らせ、グレイアを封じこめようとしたが、結果は11、12点とたたきだされてしまったのだからどうしようもない。

グレイアは多くの場合、最後にスタートして攻撃に参加する。そしてスピードをつけ、三步のリズムに合せ、充分に高いジャンプをする。このジャンプによって、デイフェンスラインの完全な上に出してしまう。

このようなジャンプをされたなら、ゴールまでグレイアをさえぎるものは何もない。キーパーも蛇にみこまれた蛙のようなものであ

る。

このジャンプがまたきわめて長く空中にいる。守備陣のジャンプがおちてしまってもグレイアのジャンプは続いている。そこでグレイアはシユートを放つ。

各コーチは種々考えた。たとえグレイアが走っている時に阻止するとか、ジャンプを妨げるとか、しつこいマン・ツウ・マンを行なうとか、色々と考えはしたが、いずれも机上のプランの域を一步もでるものでなく、グレイアの活躍は益々続いてでる。

マン・ツウ・マンも度をこすと反則が多くなり、フリースローをしばしば与えることになる。これはルーマニアにとっては絶好のチャンスとなる。この時には味方のブロックもあり、すくなくとも、やや落ちついた状態でシユートがうてるからである。グレイアにとって、フリースローは得点を重ねる絶好のチャンスになっている。

ソ連との試合では、彼の肩までないソロムコがマン・ツウ・マンについていた。ソロムコはリョープキング、シユミットなどはビタリと押えた実績のある選手である。グレイアはこれをもととせず、得点を重ねていった。

彼の存在がいかに大きいかはいうまでもない。また7Mスローのシユーターとしても一流中の一流ということができよう。

ルーマニアと云えば、現在はモーゼルではなく、グレイアを指す声の強いのももつともなことである。

写真解説

左上 グレイアはただ単にロングシユーターとしてだけでなく、パスサーとしても非常に有能に活躍している。ポストに入ったプレイヤーにフェイントパスを投げこんだところである。

右上 グレイア自身の典型的なジャンプシユート、バックをはるかにぬいている状況が的確にわかることができよう。この位置から、彼の弾丸以上のシユートがゴールの上の角につきさる。

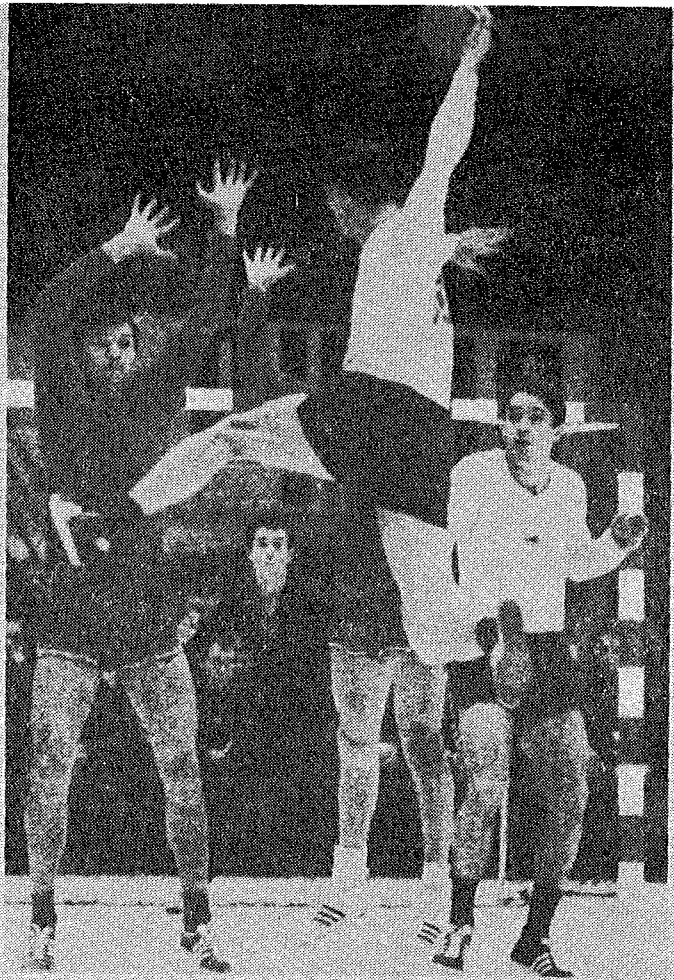
ソ連との試合の時の一コマであり、正に完全に上にぬいてノーマートクになってしまっている。これだけのジャンプは誰でもというわけにはいかない。天性の力と練習による鍛練がこのグレイアの秘密をもつとも良く物語る、ことができよう。

左下 平服のグレイア選手、これを見てもごくありふれた好青年であることがはつきりしているようだ。

右下 ソ連との試合がおわり、新聞記者にインタビュウされているからグレイア選手、いろいろとポーズさせられている。

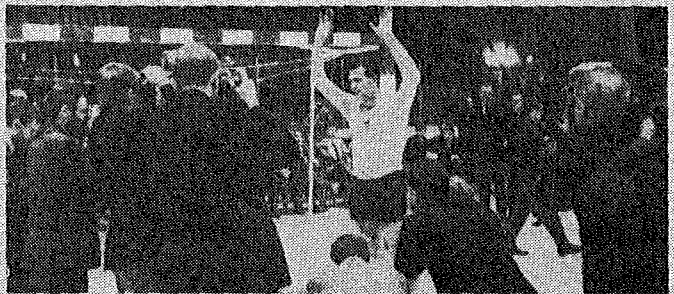


Der Linkshänder ist nicht nur Fern-
bomber, sondern auch Anspieler, hier
an Otela und unten einmal in Zivil und
mit dem Autojumper für den goldenen
Handball.



Porträt eines Weltklassespielers: Gheorghe Gruia

Wo wäre Rumänien ohne den gefürchtetsten Fernschützen und Siebenmeterspezialisten, Gheorghe Gruia, geblieben, der mit seinen Wunderschüssen aus der zweiten Reihe in für Rumänien kritischen Phasen dann die Fälschung herbeiführte. Der III. Platz der Weltmeisterschaft ist vor allem sein Werk. Oben übersteht er die Abwehr der Sowjetunion und unten läßt er sich von der Bildpresse bereitwillig „abschießen“.
Aufnahme Hanns Apfel



増加一途の大学同好 ハンドボールクラブ

日吉ク、本家(慶大)しのぐ部員数

○：大学スポーツの主流はいまや伝統の体育会から同好会に移りつつある、というといささかオーバーだが、ともかく最近の学園におけるスポーツ同好会の発展は驚異的ではある。ハンドボール界も例外ではない。芝浦工大、中大、法大、早大、慶大など各校に

体育会のいきかたを「勝つためには授業放棄もじさない」ときめつけるのは酷かもしれないが、少なくともこれまでの体育会部員の「泣きどころ」はついでいよう。それが慶大の場合体育会14名、同好会24名という部員数(いずれも6月10日現在)にあらわれ、しかも同好会24名のうち10名が1年生というのも体育会より同好会に傾く現代の学生の気持ちをはっきり示しているといえる。

○：日吉クラブは一週平均3日の練習、去年の夏は横浜で初めて合宿(5日間)もやった。

○：日吉クラブの創立は昭和39年12月。愛知・旭丘高の選手だった山岸勝彦君(当時慶大1年)が体育実技や他のサークルで知りあった友人のなかから同好の士を集めてつくったものだ。

『大学生としての勉強をつづけたいこうとするには、体育会のように練習などを義務づけては両立させることがむずかしい』というのが山岸君たちの考えかただ。

そればかりか神奈川県協会に正式登録し、県選手権や横浜の市大会へ積極的に顔を出す。日本ハンドボール界のりつばな一員である。『しかし』と山岸君たちはいう。

『試合や練習のために授業をサボったりはしない。』
○：言葉のかたわらハンドボールをたのしむ彼らの悩みは予算とグラウンド。日吉クラブの年間予算

は約7万で1人1ヶ月五百円の会費と入金金千円でそれをまかなうのだが、その三分の一はグラウンド使用料に消える。

『去年の後半から慶応高校の練習相手ということで学校のハンドボール場を一週一回ぐらいい使えるようになったのはありがたい。大学の体育施設がすべて体育会のためにあるのは疑問だ』とメンバーの口からこどもちよびり「批判」がでる。

○：皮肉なこと慶大は今春の関東学生リーグで全敗、入れ替え戦にも敗れて二部に落ちた。敗因は部員の不足だ、と誰もが見ている。

慶大・植田コーチは「こちらが練習マッチもできないというのに同好会は1年生だけで10名もかか

えているとなると考えざるを得ない。

しかし、体育会に入ると勉強ができないというのは誤解もはなはだしい。それに学生時代なにか一つ打ちこんだものがあってもいいはずだ。』というが、慶大にかぎらず、キャンパス・ライフにおけるハンドボール同好会はまだまだ強まる傾向のようだ。

関東学連のある役員が本気とも冗談ともつかずにこうつぶやいた。『はじめのうちはそうした「集り」もハンドボール人口の増加になるとよるこんでいたが、こう盛んになると、今に「関東大学同好会リーグ」などというのが出て、われわれと会場をとりあうなんてことにならないだろうね』

球界パトロール

ひと足はやく「日独対抗」

長崎で両国スポーツ少年団が交戦

○：日独青少年交歓で3月来日したドイツスポーツユース・グループ(ハンスハンセン

スポーツ少年団)は、南・北

2班に分かれて全国各地で、日本のスポーツ少年団と交流したが、

○：ドイツといえば「ハンドボールの祖国」。

南まわり(九州・四国・関西)班が長崎で男子はサッカー、女子は

リーダーの一人クラウス・ダンケルトさんが「ハンドボール教

地元佐世保の少女チームとハンド

官」の肩書きをもっていることから急ぎょチームを編成して、この「国際試合」となったもの。

日本側は、地元佐世保市・大野スポーツ少年団のチームで、中学ハンドボール部員で固めた「強豪」。

○：濃紺のユニホームを着たドイツチームは16才から20才までというものの体格は成年なみ。しかも、国技ともいえるべきハンドボールの試合とあって大変なはり切りようだったが、あいにくとキヴェリップさんはカヌー、シェーファ1さんはスポーツ・ダンス、ヴェルターさんは卓球といったようにメンバーの大半はハンドボールが専門外。

体格では、ぐっとみおとりがずるとはいえ、長崎国体を2年後にひかえて、このところハンドボールへの関心、技術ともに高まっている地元チームに走りまわられ、結局4点差で大野スポーツ少年団の勝ちとなった。

○：会場の長崎国際体育館のスタンドには「主客」の両国スポーツ少年団員のほかハンスハンセン団長や地元教育関係者、長崎ハンドボール協会関係者、父兄などが集まり、コートいっぱいにくりひろげられた若々しい選手の動きに拍手を送っていたが、ずい所に見せたフェアプレーと交歓風景は長崎県の心をこめたプレゼント・真珠のネクタイピンとネックレスの輝きよりも、いつそう美しい光をはなつてみえた。

遠きよき思い出を求めて

11人制の試合举行

東大・京大定期戦OB戦

東大・京大定期戦は例年六月、七月に一年置きに東京、京都と場所をかえ、行なわれている。現役戦だけでなく、日頃さしてボールを握る機会が少ないOB連中も年に一回の機会とおおいに期待して全国各地から集ってくる。

OB連も十年も前に学窓を出たのは、七人制は二・三度しかやったことがないものも多く、また運動不足もわざわざいして、とても七人制のスピードにはついてゆけず、ただ単にベンチの場所ふさぎにしかならない者も出てくるようになった。

こういった人々から、一人制をやろうじゃないかの声があがり、昨年の定期戦はたまたま東大ハンドボール初代部長の朱牟田夏雄氏の現役部長最後の定期戦でもあったため、古いOBのノスタルジアを満足させようではないかということになり、一人制のOB戦も

今年四月から、朱牟田前部長の後を受け、東大ハンドボール部長に就任の松島静雄教授曰く、「私は今日ハンドボールをはじめて見ました。最初に一人制というのを見たのですが、これはどうも聞の抜けた競技で、ハンドボールっていうのは割合つまらない競技だな、こんなものなのかと思っていたのですが、次に若いOBと現役の七人制を見て、スピードもあ

り、激しい、すばらしいスポーツだと感じしました。」ここで鳴りをひそめて、ミーティングの席上、OB連の悪口を聞いていた現役連中はどっと湧いた。

続いて松島部長が「もともと、競技の本質的な差なのか、競技する人間の質の差なのかは素人の私にはまだはっきりと判断がつかませんが。」との発言で、全会場は湧きに湧いた。

景気よくビールをあげ、俺も満更ではと大きな顔をしていたOBもこれにはシュンとしてしまった。

七人制を見馴れた眼には、一人制は確かに聞の抜けた競技に映るのは当然である。しかし、ときおり、機会を見つけ、一人で行ったOBのノスタルジアを満足

させるのもまた一興ではないだろうか。

他にも、三高クラブ（両国高校ハンドボール部OB）対茨城大学の定期戦で一人制が行なわれたという話もある。

また、名大（阪大定期戦で、これも東大・京大定期戦の噂を聞き一つOB戦でやるうではないかと話も出たが、これは実現していないようである。

こういった形の肩のこらない試合で、古きよき時代のOBがむかしがたりをしながら、ボールを握る、そんなノンビリした一日があってもいいと思う。

球史にもあるように日本のハンドボール界は一人制で育った人間が多勢のだから。

(T.S.F)

顔ぶれは豪華版!!
異色チームは練馬区

都民体育大会から

○…とにかく楽しい大会だった。全日本クラスの大会といかないまでも、選手の名前を見ただけでも豪華版。男子を見ても、品川区代表の大崎電気は竹野、北

田印刷機の選手たち。一方女子は練馬区代表として元大崎電気の宇井、黒川、笠原、深津、早乙女、古谷らが登場。

年に一度の都民体育大会（第十回）である。会場はハンドボールになじみの深い駒沢。

○…チーム編成の傑作は、練馬クラブの男女両チーム。前述のように、男子は全くの寄り合い世帯。第一日の五月二十八日に、グラウンドで初めて顔を合わせたというのだから……。高森君が大きな腹をしながらトレーニング。スタンドから「関取!!、しっかりやれよ」と声がかかる。この高森君は一年ぶりにボールを握ったという。「あの大きなからだでよく走れるものだ」と観衆の中から驚きの声がとび出るほど。今野君は大崎電気の監督をしりぞいて職務に専念しているため、やはり練習不足。飛び込みシュートしたのはいいが、足腰が痛くて立ち上がれず、コートにへばりついてい

る。高森君は一年ぶりにボールを握ったという。「あの大きなからだでよく走れるものだ」と観衆の中から驚きの声がとび出るほど。今野君は大崎電気の監督をしりぞいて職務に専念しているため、やはり練習不足。飛び込みシュートしたのはいいが、足腰が痛くて立ち上がれず、コートにへばりついてい

る。高森君は一年ぶりにボールを握ったという。「あの大きなからだでよく走れるものだ」と観衆の中から驚きの声がとび出るほど。今野君は大崎電気の監督をしりぞいて職務に専念しているため、やはり練習不足。飛び込みシュートしたのはいいが、足腰が痛くて立ち上がれず、コートにへばりついてい

判定解釈の全国統一を切望

松山で西日本地区講習会ひらく

○……今シーズン最初の大規模な講習会として注目されている。西日本地域審判法及技術講習会がこのほど愛媛県松山市・松山商大体育館で2日間にわたり開かれた。

競技人口の増加などを反映して沖縄をはじめ17府県から35名の関係者と地元愛媛の受講者百二十名が集まり盛況だった。

○……講習会の焦点になったのは世界選手権監督・村田弘氏による「世界選手権大会の感想と欧州の近況報告」それに「審判に関する質疑」。特に後者は講師の山田計、高橋清年、越智武氏の三氏をまじえて活潑な論議が行われ、いくつかの疑問点が提出されたが、越智氏が「痛切な感想」と前向きして「判定基準を早急に全国統一する必要がある」としているのは注目されてよい。

○……審判技術の向上については機会あるごとに強調されているが、大会によってその判定基準が異なるのはどうにかならないものかという声はなかでも大きい。

この講習会では「東日本と西日本で解釈に相異がある」と一応の反省をまとめ、本部協会に、統一の要望を出すことになったが、この問題は今にはじまったことではなく、本部審判部の積極的な態度が望まれている。

新しく審判部長となった安藤純

光常務理事は「ルール解釈の統一がかけられているということは以前から耳にしていたが、これは本部の解釈の伝達方法がわるかったために生じたものと思う。その方法を強化するようにしてよい方向にむけていきたい」といっており、具体的には学連・高体連・実連の各審判部長確立とブロック審判部の強化などが腹案にあると伝えられている。

また「毎年4月に年度内のルール解釈を統一して、各大会前の審判打ち合せや、監督会議で変更をしないようにすべきだ」という意見が出されたのもっともなことだ。

○……このほか講習会では「オリンピックをひかえ、国際試合の代表は、高校時代から優秀選手リストをつくり、その後の成長経過をみて選考することが望ましい」「ルールブックを誰もが見ても判るようにして欲しい。ファン用というのもある」という意見も出された。ナショナルチームの編成にはかなり多くの意見が述べられてこの問題に対する関心の高さを示していた。

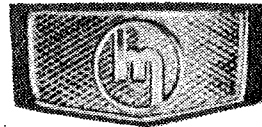
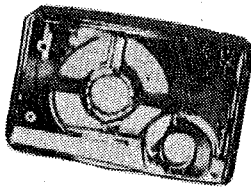
九州でも講習会

九州地区審判講習会は5月13日、14日熊本市の済々魯体育館で開かれ51名が参加。講師は小袋是郎、藤田八郎、日野博、井薫の四氏が担当した。

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……

……ありません!



精密金型設計・製作

マイクロプラスチック成型

プラスチックメッキ

株式会社 宗形製作所

本社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL 高槻 (0726) 75-5551
東北本社	福島県福島市清水町字中谷地48番地	TEL 福島 (02452) 3-2812・2911
宗形工業化学株式会社	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL 高槻 (0726) 75-5767-8
京都金型製作株式会社	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL 京都 (075) 68-9701

日本ハンドボール界の課題 (2)

三十周年を迎えた球界に望む

村田 弘 (第六回世界選手権日本チーム監督)

1937年第1回全日本選手権が開かれてから本年で30歳を迎えることになった。欧州ではその1年前の1936年の第11回オリンピックにハンドボール(二人制)が行なわれた。またその年七人制が国際化され38年に七人制、一人制の第1回世界選手権が開かれている。

簡単に数字の上から較べると30年の開きがある。30年というが競技人口、技術その他いろんな点で大きな差はあったと思う。第2次大戦後又七人制の1本化によりハンドボール界は急速に進歩発展し、すべての面でこの開きは縮まれていることは事実である。今後関係者の努力によって、先進国に追従しなければならぬ。

1、日本ハンドボール協会に望む

(イ) 協会運営の充実と下部組織との協力体制

協会の運営如何がハンドボール界の発展にまた下部団体の活動に

影響する所が大であるから、内容を明確にし、アマチュア団体である以上フェアにスピーディに運営してほしい。下部組織の地方協会や実業団連盟、大学連盟、高体連と密接な連絡及び適性な指導を行ない、下部はその独自の活動を活発にし、協会に対し協力体制をととのえてほしい。

(ロ) 底辺の拡充

現在日本協会に登録されている競技人口は約4万人で、国際連盟に正式登録されている3万人以上の国は日本を含め、東・西ドイツ、デンマーク、ハンガリー、オランダ、ソ連、ユーゴ、スウェーデンの9ヶ国である。日本もここまで普及発展したことは非常によろこばしい。しかし、今一番大きな問題は中学の指導要領にハンドボールが入っていないことである。

この問題が解決すれば一つのきっかけとなり底辺の拡充が充たされ、ハンドボール界も更に大きく飛躍するだろう。ハンドボールをやる年代が若くなり、競技者が増えることによって、経験が充たさ

れ肉体的・技術的バランスの調和がよくなり、当然技術向上、選手強化も軌道に乗り世界レベルに達する日も近いだろう。中ベルに達する日も近いだろう。中学といわず、小学校・幼年時代にボールと親しむようにさせたい。今後、協会はこの問題解決にあらゆる方策を練ってほしい。

(ハ) 技術向上と選手強化

年々技術は向上している。協会は技術向上選手強化に対して力を入れるべきである。まず指導体系の確立と指導者の養成そして優秀なプレーヤーの強化合宿である。

その方法の一つとして、ルーマニヤか西ドイツよりコーチを招聘することが急務である。また全国の優秀コーチ陣を集め、コーチ会を開き、意見の交換をし、技術研究を行う。

それから国内試合(大会)が何かマンネリにおち入っているのので一度再検討すべきである。

また欧州から遠隔の地であるが財源の許す限り国際試合を多くし、国際経験を積むと同時に高度な技術と立派な根性を修得すべきである。

(ニ) 財源の獲得

協会が事業を立派に運営するにはまず予算の裏付けが必要である。財源の獲得は非常にむづかしい難問題であるが、努力してもらいたい。

(ホ) PRとファンの獲得

現在はPRの時代である。どんなハンドボールをPRしてほしい。ハンドボールほど現代人の好むスリルとスピードに富んだスポーツはない。ハンドボールを知らない人またスポーツに興味のない人でも一度ゲームを見たら面白くなることは間違いない。PRにより、多くのファンを獲得すれば、今一層ポピュラーなスポーツとして発展するだろう。

2、指導者に望む

指導者は選手をうまくし、チームを強くしたい念願を持って任に当たっているが、指導の適性を欠いている点が多い。その一番大きな問題は基礎的分野の指導を怠っていることである。もっと基礎の重要性をよく知り、従来の観念的指導を改善し、絶えずフレッシュな気持と旺盛なファイトで指導研究に当たってほしい。

3 審判員に望む

審判技術を第二義的に考えているのは大きな間違いである。審判

技術の向上はハンドボール技術向上に重要な役割を持つている。よく試合が終ると審判を批判するが、これは審判員も選手も反省しなければならぬ。現在の審判技術はハンドボール技術向上をさまたげていると思う。今後審判員はスピーディなゲーム運びと正しい判定のできるよう審判技術向上のため全力をあげてほしい。

4 選手に望む

選手はチームの一員である以上自己能力の優劣がチームの絶対的条件であることを認識しなければならぬ。優秀なプレーヤーの条件とは肉体的能力・ボールを保持する能力・正確で強力なシュートなど基礎的分野における能力を身につけることである。

よく根性々々というが、口先だけの根性に過ぎない。もっと根強い根性と勝利への執念、技術に対する研究心と練習々々、猛練習をやる以外にはない。練習も練習のため試合のための練習であってはいけない。試合に勝たんだための練習をしなければならぬ。

選手はあまりにもハンドボール以外に欲が多すぎる。もっとハンドボールを好きになり徹底すべきである。以上簡単に要望事項をあげてみたが今後ハンドボール関係者が一体となり、チームワークをとり発展に努力してほしい。

「根性をもって」

水俣高校・女(熊本)

わが水高ハンドボール部には伝統こそありませんがよきりっぱな先輩を持っています。現在大洋デパートの主将でヨーロッパ遠征されました。また東京重機にも。今はこうりっぱな先輩もっているにもかかわらず戦績はおもしろくありません。現在部員数二十名で毎日欠かさず練習しています。また県のレベルが他県に比較して高いといわれていますが、我々はこのレベルの高い熊本県でインターハイ出場の座を握ろうと今は練習に練習を重ねて頑張っています。



水俣高校(女子)

私達の監督のことは「根性をもって」ということばがありすが私達は練習にはもちろん根性をもっていますが、もう一つ「打倒菊池」のことばに根性をかけています。このことばを実現させようと三年、しかしまだ実現することができません。でもいつかは実現できることを確信しています。今までの成績はおもしろくありませんが我々はハンドボールを通して人間的に必要な欠くべからざるものを身につけました。

今後さらさら努力し、不動の栄光に向かってがっちりスクラム組みきょうも練習に励んでいます。
(水俣高校女子ハンドボール部 主将 松田佐和子)

先輩・後輩のこと

水俣高校・男(熊本)

ハンドボールを正式に始めたのは高校入学直前の事である。先輩達の合宿に参加しきびしい練習に何度か倒れそうなる事もあった。手足は傷だらけになりブロンジョンの練習もこの時始めて習った。ブロンジョンの成功が傷の痛みを吹き飛ばしてしまった。そんな時始めて先輩の熱心な指導と親切が痛感された。練習を離れても、この印象はかわらなかつた。いつだったか数学の応用問題が解けず先輩にたずねた

水俣高校(男子)



ことがある。先輩は教科書を差し出し「暗記するまで読め。」という。簡単なものを解くのはやさしい、しかしそれをわかるのは容易なことではないぞ。」と先輩。私はつくづくと思う。ハンドボールも基礎的なことをしっかり自らの身体で感じることだ。何事もハンドボールと結びつけねばおさまらない僕であった。私の中の先輩像は新入生達が私を「先輩」と呼ぶ時突然奮いたって私をひきしめおもしろい気持ちにさせるのだ。
(水俣高校男子ハンドボール部 主将 血井 淳)

止めないでよかつた

馬頭高校(栃木)

高校に入学した時、クラブの紹介で、ハンドボールの主将が「ハンドボールは誰にでも楽しくできるスポーツであると思う。わがクラブは新設されて二年目、多くは語れないが、今年はず関東大会に出場したい」と云ったことを覚えています。先輩の強い決意の言葉が、クラブの選択に迷っていた私に入部の決心を与えてくれました。でも新入生の僕らにとって、ほとんど三年生ばかりのクラブ員との練習は厳しく何度も、止めようかと思いましたが、しかし誰にでもできることは勝つ

馬頭高校



ことも難しい、苦しい練習に耐えられなければ勉強だって駄目なんだ、と思いついては練習に励んできました。おかげで昨年は関東大会へも出場できました。ハンドボールで強い精神力と体力を養って良い人間になりたいと思います。また私たちの今年のチームは、一年生が主力なので明日への夢も残されています。私はハンドボールをやったよかつた、止めないでよかつた、頑張ろうと意気込んでいます。
(川上記・写真は卒業生との練習試合の風景です)

勝利めざして

西陵商高(愛知)

西陵のハンドボールは古く、11人制の時からです。当時西陵ハンドボールクラブと言えば県下でも名高かったが現在は以前より力も少し下降してしまいました。偉大な先輩達が残しておいてくれた伝統を今もなお守り続けております。

ところが、11人制の頃の面影は全くなく、いつも試合はいいところまでいくのですが、残念ながら勝ち運に恵ま



西陵商業高校

れずとり残されたようです。しかし部員は他校に比べて男子の数が少ないというハンディキャップを背負って毎日ボールが見えなくなるまで無心に練習に打ち込んでおります。厳しい練習に耐えこの不利なハンディを克服し、その上顧問の先生の良き御指導と御尽力により一歩一歩着実に向上してまいりました。部員一同、雨風、暑さ寒さにもめげず、一丸となって「人事を尽して天命を待つ」ということをいつも念頭におき頑張っています。先生と部員、部員と先生というようにみんな一致団結したこの二つの大きな歯車も回転し始め、どんな苦勞もみんな分ち

合い又助け合っていく協力面を備え肉体的にも精神的にも熟した部員はやる気満々です。

(名古屋市長西陵商業高校)

吉田敏夫

もう一度全国大会へ

上田城南高校(長野)

私達の学校にハンドボール部が結成されて六年になります。

その間に全国大会に一回出場しました。この全国大会の時は私達はまだ高校に入学していませんでしたのでその喜びを感じる事が出来ませんでした。先輩のこの戦歴を私達は心に秘めて、グラウンドにもう一度全国大会出場という夢を託して毎日顧問の先生の大きな声を聞き練習に明け暮らして送っています。しかし、現在私達の悩みは部員が少ないことです。これは、まだ長野県にハンドボールというものが普及していないことが最大の原因であると思えます。

でも私達はこんな事情に敗けることなく、クラブのモットーである「和と社会性のある人間になる」、を信念としてハンドボールに接しています。昨年一点差で破れ全国大会に出場することは出来ませんでした。本年はその先輩が流した涙を無駄にせず私達の

上田城南高校



手で喜びの涙を勝ちとろうと思えます。努力、これこそ全国大会への道だと思えます。

(主将 満木寿子)

編集部から

好評をいただいております「学園だより」より充実したものにしたいと思っております。

現在はこちらから、各高校に原稿の執筆を依頼して、依頼した高校から寄稿されたものも掲載していますが、毎月依頼した高校全部から寄稿してもらえない訳ではなく、また到着が遅れたりして、編集上支障をきたす場合が少くありません。依頼を受けたならば、至急お送り下さるようお願いいたします。

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使われて居る!

セッター

サービス部
新宿区新宿2丁目電停前
TEL (341)2979・1016

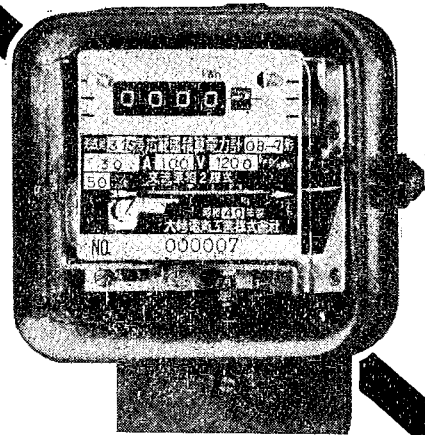
望月運動用品KK
東京都墨田区横川橋4丁目6
TEL 本所 (622) 0746

Osaki

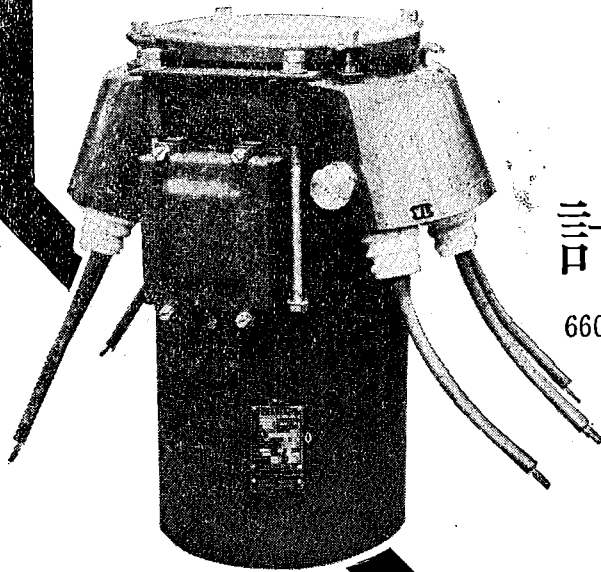
最高の確度と信頼度を持つ

積算電力計

(単相用	OB-7)
(3相用	OW-7)



OB-7型広範囲単相積算電力計



計器用変成器

6600V用重予型PCT PDN形

—主要製品—

積算電力計・電流制限器
計器用変成器・電圧調整器
配電盤・分電盤・制御盤



大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区五反田1の263 電話東京(443) 7171代表
 蒲田工場 東京都大田区原町10 電話東京(732) 6511代表
 埼玉工場 埼玉県入間郡三芳村大字藤久保 電話0492 - 61 - 1205

ハンドボール球史

全日本総合室内
第2回～第4回

なる。

【第2回全日本総合室内Ⅱ昭和31年3月10～13日・平塚市見付台体育館】

▼男子1回戦

平塚ク	不戦勝	全法大	(東京)
鳳高ク	12-1	全関東学院	(神奈川)
全芝浦工	20-3	全法政二高	(神奈川)
日体大B	13-6	泉大津ク	(大阪)
全兵庫	13-2	全三浦高	(神奈川)
全東大	不戦勝	桜丘会	(愛知)
立大	7-7	三春台ク	(神奈川)
慶大	15-3	奈良ク	(奈良)
鎌倉学園	7-4	全中大	(東京)
同2回戦			
大阪ク	33-1	平塚ク	
教大	18-6	鳳高ク	
全芝浦工	21-5	全静岡	(静岡)
日体大B	41-0	Jクラブ	(神奈川)
全兵庫	棄権	三田ク	(東京)
久里浜ク	12-4	全東大	(神奈川)

立大 7-6 慶大
日体大A 23-5 鎌倉学園
(東京)

▽同準々決勝

大阪ク	11-10	教大
日体大B	9-5	全芝浦工
全兵庫	13-4	久里浜ク
日体大A	18-7	立大
同準決勝		
大阪ク	10(6-1)	日体大B
日体大A	13(4-1)	全兵庫
同3位決定戦		
日体大B	7(3-1)	全兵庫
日体大A	8(2-2)	大阪ク

優勝メンバー

雄之彦 勤一 一之弥 彦作 昭一 夫
秀雅 安寿 末民 克謙 泰 恭 豊
野藤 鳥居 田藤 田沢 野末 野
小加 小堀 今幸 柳 浅広 竹 森 森

▼女子1回戦(参加4チーム)

日体大	6-0	春日丘ク
大谷高ク	6-4	平塚江南
同3位決定戦		
大谷高ク	6(2-2)	平塚江南
同決勝		
日体大2	0-1	大谷高ク

ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球



三カド商会

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696
TEL (941) 2635・6592

全日本総合室内の第2回大会は東京で開かれる予定で準備が進められたが、体育館事情がわるく会場探しに時日がかき、結局は年度ぎりぎりの昭和31年3月10日から神奈川県平塚市・見付台体育館で行われた。

このため東京での室内の公式第1戦はさらに遅れることになり、普及面でかなりのマイナスを生じた。ちなみに東京で初めて室内の公式大会が行われたのは昭和31年11月明大体育館の「早慶明法4大対抗戦」である。

平塚での第2回大会は男子25チーム、女子4チームが参加したが、室内に対する研究は前年より深まったとはいえず「未消化」の印象をぬぐいさることはできなかった。

この年の秋、西ドイツナシヨナ

ルチームが11人制で来日することに決まっていたことも、7人制(室内)主体化を消極的にさせる一因となり、当時の情勢としては、このムードを責めるわけにはいかないだろう。

男子は2年連続日体大(東京)―大阪ク(大阪)の決勝となったが、日体大が現役学生のスピードを活かして快勝。

女子も日体大(東京)が、1回戦で前年優勝の春日丘(大阪)に零封勝ちした余勢で優勝を飾った。

全国大会で同一チームが男女優勝したのは、この時点では史上初めて。後年になって大崎電気(埼玉・第16回全日本総合)、徳山高(山口・第18回国体高校)の二チームがこの偉業を達成することに

優勝メンバー
 玲子 子枝子 子子子
 愛博 喜蟻 徳芳 良淳
 取川 満山 井原 本辺
 白田 原奥 石桑 坂渡 斉藤
 東海 藤林

新進・芝浦、日体の壁を破る

第3回大会は再び会場を第一回大会の開催地大阪に戻して31年12月に開かれた。

この大会はいわゆる「芝浦工大時大」の幕あけともなるわけで興味深い。

「日体」の壁をなかなかつき破れなかった芝浦工大（東京）がこの年の秋、関東学生で初優勝をとげ、つづく全日本学生王座でも関学（兵庫）を破って「日本一」の座についた。その勢いをこの大会にも持ちこんだわけで4日前に全日本学生王座を掌中にしたメンバーにOB3人を加えた全芝浦工大の意気は「新進」の名にふさわしいものがあつた。

予想どおり西日本日体OB（福岡）、全日体大（東京）らを連破して決勝進出、宿敵となつた日体大（東京）との優勝争いは、球史に残る激闘となり第2延長にもつれこむ熱戦から劇的な初優勝となつた。日体系3チームをなぎ倒しての制覇は両者の対決を宿命的なものにするとも球界地図を大

きくぬりかえることになつた。女子は、練習量にまさる日体大（東京）が連覇。なお、男女とも夏の全日本総合の覇者がそろつて3位におわつたのも興味深いことである。

【第3回全日本総合室内Ⅱ昭和31年12月26日〜28日・大阪府立体育会館】

男子1回戦

六陵ク	22-9	熊本教職員ク	(熊本)
大阪歯大	15-6	奈良ク	(奈良)
兵庫工ク	19-3	千成ク	(大阪)
全芝浦工大	37-0	高津ク	(大阪)

同2回戦

全関学	16-5	六陵ク	
日体大	9-6	鳳高ク	(大阪)
神戸大	20-9	春日丘ク	(大阪)
旭桜ク	24-2	大阪歯大	

新生ク

全日体大	15-11	兵庫工ク	
西日本日体OB	24-10	岡崎ク	(愛知)
全芝浦工大	16-6	高田高	(三重)
全芝浦工大	25-3	防衛大	(神奈川)

同準々決勝

日体大	11-5	全関学	
-----	------	-----	--

旭桜ク	9-6	神戸大	
全日体大	9-6	新生ク	
全芝浦工大	13-2	西日本日体OB	

同準決勝

日体大	20-15	旭桜ク	
全芝浦大	9-6	全日体大	

同3位決定戦

全日体大	13-8	旭桜ク	
全芝浦工大	10-8	日体大	

優勝メンバー

彦康一治 夫郎 博生 宏雄 二司 雄徹
 邦 俱 孝 邦 文 二 金 達 嘉 次 敬 泰 治
 野 泉 森 野 井 林 藤 上 生 川 岡 石 櫻 武
 今 小 高 浜 桜 小 近 中 稻 荒 山 大 富 光

女子1回戦(2試合)

半田高	7-3	春日丘ク	(大阪)
全兵庫	不戦勝	大谷ク	(大阪)
日体大	6-3	半田高	
全兵庫	6-2	四日市高	(三重)

同3位決定戦

半田高	14-9	四日市高	
日体大	6-5	全兵庫	

優勝メンバー

子子子子子子子子子子子子子子
 芳良博ヨ澄秀秀昭代紀巧里
 美多 萬
 原本川藤辺場川田定崎谷野辺
 桑坂田斉渡馬山清国山板矢渡

女子で半田高が優勝

第4回大会は33年1月5日から名古屋で行われた。ハンドボールの全日本選手権が新春早々から開かれるのは史上初めて。この大会を正月の恒例スポーツにという声もあつたがその慣習も翌年(第5回)まででおわつた。男子は地方勢の代表格全静岡と全宮城がベストフオアに残つたのが注目された。

過去3回のベストフオアはいずれも東京と近畿に限られていたのだが、ようやく全国的に7人制の根がおろたことを示すものであつた。

決勝は日体大が前回の雪じよくをとけた。女子は、32年4月から11人制が全廃され夏の全日本総合とともにこの大会は各チームの「最大目

ミカサボール
 ハンドボール
 MG ミカサボール
 明星ゴム工業株式会社

標”に発展した。そうした影響のあらわれの一つ実業団の地元・愛知紡(愛知)が、夏の全日本総合制覇についてダブル・クラウンを狙って登場。しかし決勝で後輩の半田高(愛知)に敗れる番狂せとなった。

この大会で、高校現役の優勝は初めて。ベスト・フォアのうち三つを高校で占めたことも特筆してよい。

余談になるが、優勝した半田高の主力が三ヶ月後に愛知紡に加わり、同チームの実力を不動のものとするにつながらる。

【第4回全日本総合室内Ⅱ昭和33年1月5日〜7日・名古屋市金山体育館】

男子1回戦

全静岡	15-10	京都パレ(静岡)
桜丘会	不戦勝	高田(愛知)
全教大(東京)	11-5	鳳(大阪)
中京商(愛知)	16-2	彦根(滋賀)
▽同2回戦		
全静岡	15-14	教大(東京)
全愛知学芸大(愛知)	21-6	奈良(奈良)
全日体大(東京)	11-5	高津(大阪)
全芝浦工大(東京)	13-4	桜丘会

全教大 8-6 楠送会(兵庫)

日体大 14-8 桜台高(愛知)

全宮城 不戦勝 東大(東京)

中京商 9-5 四日市工(三重)

▽同準々決勝

全静岡 11-10 全愛知学大

全芝浦工 6-5 全日体大

日体大 11-6 全教大

全宮城 8-7 中京商

▽同準決勝

全芝浦工 9(0-2)5 全静岡

日体大 19(8-11)4 7 全宮城

▽同決勝

日体大 8(6-1)7 全芝浦工

優勝メンバー
喜助助仲三進夫男祐郎夫
勇哲慶之嘉泰圭 幹節富勸太澄
川辺辺田 野野林田井西原島口
北渡渡松東竹山小梅新大桑豊瀧

女子1回戦(1試合)

都立二商 記録 八尾高(東京)

▽同準々決勝

半田高 14-2 都立二商

沼津女高 不戦勝 平塚江南(静岡)

愛知紡 5-4 栃木女高(愛知)

四日市高 4-2 日女体短(三重)

▽同準決勝
半田高 7(5-1)2 沼津女高

愛知紡 13(7-1)4 四日市高

▽同決勝
半田高 6(2-1)5 愛知紡

優勝メンバー

子子子子子子子子子子
勝徳悠準秘悦道銈知昌
田間木崎本谷瀬崎川美
沢本青野竹八村山磯部

【注】第4回大会は男女とも3位決定戦なし
【次号は第5回大会の記録など】

実業団連盟だより

全日本総合に住友化学ら四チーム

全日本実業団ハンドボール連盟(会長・古賀和佐雄氏)は、八月二十二日から五日間、福井県大飯郡高浜町で開かれる第十九回全日本総合選手権大会に出場する実連推薦チームに住友化学菊本(愛媛)、宗形製作所(大阪)、常盤工業(岐阜)、本田技研(三重)の四チームを決めた。


推薦基準はことし二月の第七回全日本実業団選手権大会の上位四チーム(大崎電気、住友化学菊本、宗形製作所、常盤工業)とし、この

46年以後の国体開催地が内定

日本体育協会国体常任委員会は6月20日の会議で昭和46年(第26回)以後の国体開催地を次のように内定。

- ▽昭和46年・和歌山県
 - ▽昭和47年・鹿児島県
 - ▽昭和48年・千葉県
 - ▽昭和49年・茨城県
- なお、来年以後の開催地は福井(昭43)長崎(44)岩手(45)とすでに決まっている。

日本ハンドボール協会検定球




東京

新製品 / チェコ型

タチカラ株式会社

大阪



大阪

地方協会告知板

東京都協会登録チームは130

東京都協会は5月31日に42年度の登録を締め切った。この結果、42年度は別表のように130チームとなり、前年比123%となった。とくに高体連の伸び率が著しく、全体としては16チームの増となった。

◇一般男子(26チーム)
 蜂山会(三井征二)、安田生命(田口敬蔵)、◎宮原電気(宮原良治)、全慶応(増田一郎)、三菱重工水島東京工場(神山邦夫)、◎TCU(小山隆弘)、◎三景KK

種別	登録子一ム							計
	一般男子	一般女子	教員	大学男子	大学女子	高校男子	高校女子	
40年度	14	4	2	16	3	35	23	97
41年度	20	5	2	17	5	39	26	114
42年度	26	5	1	17	5	48	28	130

注=42年度は前年比の123% (16チーム増)

◎学連チーム(安藤純光)、千代田印刷機製造(古賀健一郎)、早大学院(浅野道夫)、◎全日体大(荒川清美、芝浦(住広尚三)、若木(村田稔、城南(田井裕、大崎電気(辻本正義)、◎深川会(山野圭三)、全立大(勝繁夫)、◎滴水会東京(中沢重夫)、◎大成(奥本義昭、明星(高橋英次)

◇一般女子(5チーム)
 ◎東京(今野邦彦)、東京重機(久津名勲治)、大崎電気(辻本正義)、レナウン工業(塩川安賢) 三菱鉛筆(猪狩武春)

◇教員(1チーム)
 桜友会(田中稔)

◇大学男子(17チーム)
 立大(勝繁夫)、慶大(増田一郎)、早大(萩原一、日大(吉田清、明星大(小原裕、東京理科大(滝沢正彦、武蔵工大(難波俊夫、中大(田中秀夫)、法大(安藤純光)、東京教育大(大西武)、上智大(塩川樞夫、日体大(荒川清美)、明大(小林直紀、

東大(松島静雄)、芝浦工大(中沢重夫)、東京学芸大(矢野久英)、国士館大(平岡光雄)

◇大学女子(5チーム)
 日体大(杉本功介)、国士館大(平岡光雄)、東京学芸大(矢野久英)、東京学芸大(和泉貞男)、日体大(荒川清美)

◇高校男子(48チーム)
 都城南(若林義孝)、芝浦工大(長田虎磨朗)、都羽田工(小泉)、東京実業(田中保弘)、都世田谷工(徳永陸繁)、都明正(崎山朝儀)、都玉川(富田隆祐)、東京学芸大付(田島穆)、武蔵工大付(中野偉夫)、都一商(増井俊明)、都広尾(南一好)、都鷺宮(杉浦仁)、都四谷商(郷原義久)、東亜商(片田尊)、都杉並工(瀬川勝夫)、早大高等学院(萩原一、城西(本堂元規)、都赤羽商(大門正男)、都池袋商(奥田恒夫)、帝京商工(古田)、都兩國(永井勝雄)、都墨田川(松本重雄)、都江東商(中村正義)、都三商(伊藤政貞)、都江東工(本間俊三郎)、都江戸川(小泉功)、都小岩(上川高央)、都白鷗(宮下善郎)、都北多摩(島田正士)、関東(和田知雄)、都二商(小沢重夫)、都立府中(久田睦)、都農業(由良和雄)、都府中工(山口久夫)、明星(高橋英次)、中大付(川上整司)、拓大(鈴木亮)、錦城(舛巴照)、都神代(大塚文

雄、都国立(稲垣雅彦)、都五商(岡前義春)、工学院大(山下広人)、都秋川(佐野和夫)、都久留米(渡辺慶寿)、都葛西工(首藤睦雄)、科学技術学園工(山口毅)、都化工(大根田二)、都多摩工(吉田侃)、都練馬(鈴木満令)

◇高校女子(28チーム)
 都園芸(小柴実)、都池袋商(奥田恒雄)、都玉川(大内一美)、倭成学園(高嶋幸雄)、東京学芸大付(田島穆)、都江戸川(小泉功)、都鷺宮、都四谷商(郷原義久)、都桜水商(坂理泰幸)、菊華(内倉正弘)、都井草(天野敏雄)、都久留米(渡辺慶寿)、都赤羽商(大門正男)、都白鷗(宮下善郎)、都兩國(永井勝雄)、都墨田川(松本重雄)、都江東商(那須貞美)、都化工(栗山繁)、都小岩(城津寛二郎)、都二商(新村正雄)、都北多摩(島田正士)、都府中(大野浩)、都小平(岡村千春)、都神代(大塚文雄)、都五商(岡前義春)、白梅学園(杉山年子)、都志村(伊藤せつ子)、都練馬(野村正隆)

滋賀は白崎氏
 滋賀県協会はこのほど会長に白崎重幸氏(三菱樹脂長浜工場長)を決めた。

徳島協会、事務局移転
 徳島協会事務局は5月20日から左記に移転した。なお事務局長は前田誠之助氏。
 徳島市田宮町西野七九・県立城北高校。電話 徳島③八一〇五。

長野協会も
 長野協会事務局は左記に変更。長野県小諸市宇上野乙三二三の二・県立小諸商業高校。

関東協会行事日程
 関東協会では昭和42年度の行事日程を次のように決めた。
 ◇第19回全日本総合関東予選・7月9日(浦和) ◇第13回関東高校選手権・7月22日(千葉)
 ◇第12回関東選手権兼国体予選・9月8日(水海道) ◇第22回国体ハンドボール競技・10月22日(浦和) ◇第2回関東実業団選手権(未定)

沖繩、総合選手権開く
 沖繩協会では今年度から全沖繩総合選手権大会を開くことにきめ9月24日・コザ高校で行う。
 なお、沖繩協会ではすでに高校選手権、一般選手権を行っていた。

各地の記録

投稿
歓迎

熊本教員ク勝つ

第3回九州選手権は5月13・14日熊本・済々魯高校技場に九州5県6チーム(男子)が参加して1ナメントで行われ、決勝は熊本―大分の教員同志の対戦となったが、熊本が2連勝を狙う大分の反撃をふり切って2年ぶり2回目の優勝をとげた。

▽1回戦(2試合)

福岡教員 17(7)―9(13) 熊本ドンキーズ(熊本)

佐世保ク(長崎) 36(22)―14(6) 鹿屋海上(鹿屋島)

▽準決勝

大分教員 23(14)―9(12) 福岡教員(大分) 33(17)―21(9) 佐世保ク(熊本)

▽決勝

熊本教員 25(15)―14(22) 大分教員

【熊本】得03808040200
田田田脇田田方海井原田
【島津元谷沢松緒中平竹野津】
GK (主審) FP (井上)

22(5) 7MT (5) 25

田村紡、愛知紡を連破

男子も常盤工業3連勝

第3回東海実業団選手権は5月14、28日の両日名古屋・愛知県体育館に東海4県から男子16、女子4チームが参加して開かれた。男子は常盤工業(岐阜)が安定した攻守で3連勝、女子は3年連続して田村紡(三重)―愛知紡(愛知)の優勝争いとなったが、地方にまさる田村紡が3連勝した。

▽男子予選1ナメント各組決勝
常盤工業 32(14)―9(9) 大協石油(岐阜)
タヨシ産 28(17)―15(9) 三菱重工(愛知)
東海製鉄A(愛知) 24(12)―18(10) 三菱油化(三重)
本田技研 35(16)―14(7) 中部電力(三重)

▽11・12位決定戦
日本碍子 27―25 プラザール工業(愛知)
▽9・10位決定戦
東海製鉄B(愛知) 31―10 光文堂(愛知)

▽7・8位決定戦
大協石油(三重) 22―18 中部電力(愛知)
▽5・6位決定戦
三菱油化 32(20)―21(11) 三菱重工
▽決勝1ナメント1回戦
常盤工業 26(10)―6(4) タヨシ産
本田技研 23(14)―15(11) 東海製鉄A

▽3位決定戦

東海製鉄 29(14)―18(8) タヨシ産

▽決勝

常盤工業 17(7)―10(5) 本田技研
得000904301000
【常盤】島橋洞井金村野藤藤
【田】瀬林田松井川岡下藤野谷
【本】森小池笠花小松大佐屋水
得0000000351001
10(2) 7MT (0) 17

【注】男子の試合法は参加16チームを4組に分けて予選1ナメントを行い各組1〜4位までを決め3位までによる同順位者で決勝1ナメント、5〜8位1ナメント、9〜12位1ナメントを行う。この結果1〜12位が決まり、13位として予選各組の4位者が並び。

▽女子(リーグ)
田村紡A 25―9 田村紡B(三重)
愛知紡(愛知) 22―5 プラザール工業(愛知)
田村紡B 14―5 プラザール工業
田村紡A 26―1 プラザール工業
愛知紡 17―10 田村紡B
田村紡A 20(10)―10(5) 愛知紡

○男子連勝の常盤は攻守のバランスがよくとれ全4戦危なげな

得04205234

【田村】美村谷林水川村
【渡】種水渡小清長甲

得0011212120

【調布】小野村形 藤間村名村
【品川】福下北井西金近竹片加

【品川】本里村上村田藤野山藤
得00477210420
10(3) 7MT (3) 20

女子は相変わらず田村紡のスピードが群を抜いたが、愛知紡の立ち上がりも注目される。全国の上位戦に今年は返り咲けそうだ。新登場のプラザール工業は体力で二強におくれをとったが、素質じゅうぶんで今後の成長が楽しみ。

新進三景が準優勝

第20回都民体育大会ハンドボール競技(5月・6月・東京駒沢)

▽男子準決勝
大崎電気 26(15)―6(4) 若木ク(渋谷区)
品川区 16(8)―15(10) 千代田印(調布市)

▽同3位決定戦
千代田印 27―8 若木ク
刷機製造

▽同決勝

大崎電気 36(22)―9(5) 三景

得012222000

【調布】野村形 藤間村名村
【品川】福下北井西金近竹片加

【品川】本里村上村田藤野山藤
得00477210420
36(1) 7MT (0) 9

▽女子(リーグ)
大崎電気 14―5 大崎OG会(大田区)
三菱鉛筆(品川区) 5―4 東京重機(調布市)
大崎電気 不戦勝 白鷗ク(台東区)
大崎電気 10―4 三菱鉛筆
大崎OG会 8―3 東京重機
大崎電気 15―1 白鷗ク
大崎電気 10―4 大崎OG会
東京重機 27―0 白鷗ク
大崎電気 23―1 白鷗ク
大崎電気 18―5 東京重機

【順位】①大崎電気②三菱鉛筆③大崎OG会④東京重機⑤白鷗ク

古川工、延長で勝つ

宮城県高校総合体育大会ハンドボール競技(5月・仙台)

▽男子準決勝
仙台一 7―4 塩釜
古川工 17―11 祇園寺

▽同3位決定戦
千代田印 27―8 若木ク
刷機製造

▽同3位決定戦
千代田印 27―8 若木ク
刷機製造

▽同決勝

古川工 13 (7 3) (7 4) 仙台 12 (1 1) (1 6)

▽同女子決勝

涌谷 19 (9 1) (1 1) 4 古川女

秋田和洋、順当の優勝

▼第13回秋田県高校総合体育大会
ハンドボール競技(6月・秋田)

▽男子準決勝

湯沢 29 3 横手
秋田南 11 7 大曲

▽同決勝

湯沢 15 (10 5) (1 4) 5 秋田南

▽女子リーグ

秋田和洋 19 2 大曲
六郷 12 6 大曲
秋田和洋 16 2 六郷
大曲 6 5 大曲
秋田和洋 14 2 大曲
六郷 11 5 大曲

【順位】①秋田和洋3戦全勝②
六郷2勝1敗③大曲1勝2敗④大
曲農3敗

花巻南、今年も好調

▼第19回岩手県高校総合体育大会
ハンドボール競技(6月・盛岡)

▽男子一回戦

岩手 10 9 花巻農
盛岡 12 11 花巻北

▽同準決勝

盛岡商 13 8 岩手
洋岡 18 4 盛岡四

▽同決勝

盛岡 14 (7 7) (5 6) 11 盛岡商

△女子一回戦

岩手女 17 0 谷村学院
花巻南 13 4 大東
花巻農 12 4 一関修紅
盛岡二 10 4 黒沢尻南

△同準決勝

花巻南 9 2 岩手女
花巻農 17 3 盛岡二

▽同決勝

花巻南 8 (2 2) (0 3) 3 花巻農

男子は洛星・女子は明德
商が優勝

▼第20回京都府高校総合体育大会
(於平安高校・42年5月20・21日)

▽男子上級の部

洛星 17 12 乙訓
伏見工 25 9 田辺
嵯峨野 8 7 桃山
日吉丘 9 8 城南

▽準決勝

洛星 10 (6 6) (3 3) 6 伏見工
嵯峨野 22 (10 12) (1 2) 3 日吉丘

▽決勝

洛星 19 (10 9) (7 6) 13 嵯峨野

▽男子下級の部

大谷 18 5 洛東
洛星 17 8 堀川

▽決勝

洛星 7 (4 3) (2 3) 5 大谷

▽女子の部

明徳商 13 3 鴨沂
嵯峨野 5 3 洛東
京女 11 4 桃山
精華 11 0 華頂

▽準決勝

明徳商 10 (7 1) (1 2) 3 嵯峨野
精華 8 (5 3) (1 0) 2 京女

▽決勝

明徳商 7 (4 3) (1 1) 6 精華

男女とも麻生高に栄冠

▼関東高校選手権大会茨城県予選
大会兼高校春季大会(於勝田工高
・42年5月27・28日)

▽男子準々決勝

麻生高 15 8 土浦工高
竜ヶ崎一高 14 10 水戸一高
土浦一高 15 9 筑波高
石岡一高 15 6 常北高

▽男子準決勝

竜ヶ崎 15 (8 7) (3 10) 土浦一高
一高 15 (12 3) (2 4) 石岡一高

▽男子決勝

麻生高 16 (9 1) (9 13) 竜ヶ崎
高崎

▽女子準々決勝

水戸二高 12 6 八郷高
麻生高 22 4 太田二高
笠間高 10 2 常北高
石岡二高 5 4 北海道二高

▽女子準決勝

石岡二高 7 (4 3) (1 4) 5 笠間高
麻生高 11 (7 4) (2 4) 6 水戸二高

▽女子決勝

麻生高 7 (5 2) (4 6) 石岡二高
以上の結果、男子は麻生高、竜
ヶ崎一高、土浦一高、石岡一高が
女子は麻生高、石岡二高、水戸二
高、笠間高が関東大会に出場。

熊本教員が連勝

▼第2回熊本県一般選手権(5月
熊本)▽男子リーグのみ

熊本教員 23 (14 9) (11 8) 熊本ド
ンキーズ
熊本教員 21 (9 12) (8 10) 18 熊
城会
熊本ド
ンキーズ 24 (10 14) (11 10) 21 熊
城会
熊本ド
ンキーズ 熊本ド
ンキーズ

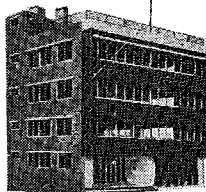
編集集

後記 今号は決算、予算
専門委員会がほぼ決
りかけた時点で、原稿の締切り
になってしまった。

インカレも迫り、インターハ
イも予選たけなわといったところ
ろ、すぐに総合と夏のシーズンの
開幕を迎えるばかりになって
いる。

16-17頁には、シュートモ
ジョンの特集にした。これは昨
年の暮に滋賀県立高島高の中川
さんから寄せられた要望に答え
たものである。はなはだ遅くな
ったが、よりよいものをといろ
いろ検討していた結果がこうな
ってしまった。時間はかかるか
もしれないが、できるだけ要望
に答えていきたいと思ってい
る。希望、意見どしどし寄せて
ほしいと考えている。これまで
残念ながらあまり、意見はよせ
られていない。

別面のとおり、新年度の専門
委員が決ったが、本誌の発行を
主事業とする本部の編集委員会
は杉山茂(NHK運動部)、古賀
健一郎(千代田印刷機製造)、藤
本強で構成し、杉山・藤本が主
に編集を担当し、古賀は広告を
主に担当することにした。
なお地方ブロックから推せん
の編集委員は現在のところ小松
進(関東)、川崎秀雄(四国)の
2氏が決定している(T.S.F.)



本社新社屋

営業三課 / 打林行夫



パーフェクトはたくさんの方の賞賛の言葉をいただきました。よい製品をつくる励みになります。

パーフェクトは夢の印刷機 (全自動) です。超薄紙から厚紙まで、忙しい人手の足りない工場に大好評。

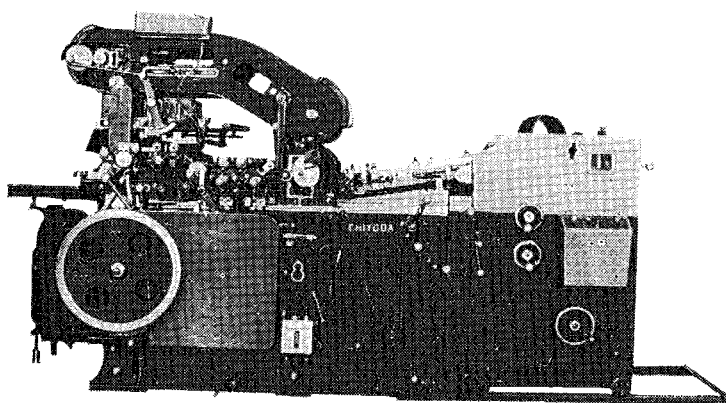
営業一課 / 庄司政雄



営業三課 / 栗田満夫



チヨダは印刷機材の合理化を推進する総合メーカーです。



新製品

パーフェクト

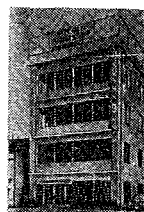
全自動B四裁凸版印刷機



千代田印刷機製造株式会社
千代田印刷材料製造株式会社

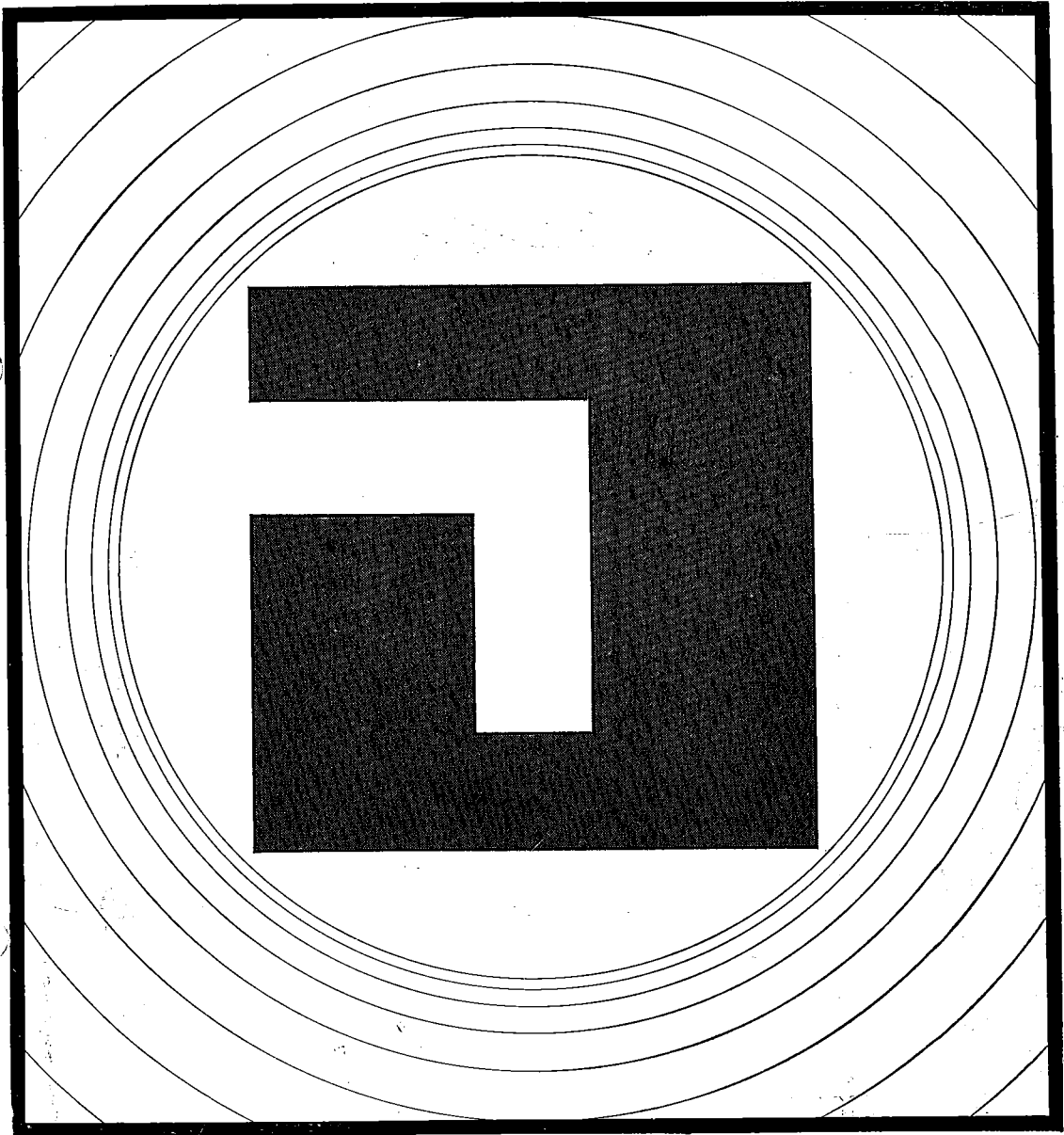
本社
横浜支社
福岡支社
立川工場
九州工場

東京都千代田区神田猿樂町1-4 TEL 東京(292) 2011 (代) ~ 8
横浜市西区高島通り1-7 TEL 神奈川(045) 44-6572・7358・7028
福岡市御供所町3番16号(聖福寺前) TEL 福岡(28) 3960・0153
東京都昭島市東町1丁目1番地5号 TEL 立川(0425) 2-2470・4383
佐賀県小城郡牛津町(牛津駅前) TEL 牛津 7 2



横浜支社

世界に誇るこのマーク



日本ハンドボール協会編
ハンドボール

第四十四号

昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可

昭和四十二年六月二十五日印刷
昭和四十二年七月一日発行

発行所
日本ハンドボール協会

東京 渋谷区神南町二五
電話 大代表(樹三)二一
振替東京五八三三八番

編集兼
発行人

鈴木達雄 定価 百五十円



あなたの工場を合理化する
工業用ミシン・プレス・縫製附帯設備・電子機器
あなたのご家庭を設計する
家庭用ミシン・編機・電気掃除機・冷蔵庫

東京重機工業株式会社